

令和4年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 松尾 秀明	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所を目指すとともに、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取組を行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>①全体の奉仕者として市民の期待にこたえる職員を育てます。 ②市民みんなが日頃から災害に備え、いざという時に自らの命、家族の命を守ることができるように防災意識の高いまちをつくります。 ③幼児から高齢者まで一人ひとりが交通安全問題を正しく理解し、実際に行動できるよう各年代に応じた交通安全教育と啓発活動を進めます。 ④市の規模に合った中期的な視点での財政運営を行います。 ⑤公共施設の再編を進め、公共施設の総量を計画的に縮減し、将来の負担を軽減します。 ⑥情報技術を活用し、地域生活の利便性向上、市役所内部の業務改善に取り組みます。</p>	所管課 総務課・危機管理課・財政課 契約管財課・DX戦略室			
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		38人	13人	51人	
		一般会計	4,556,286 千円		
		特別会計	千円		
		計	4,556,286 千円		
		(うち人件費)	(412,197 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	市民サービス及び職場環境向上への取組（業務改善）	市政運営における日々の業務の中で、職員が感じている課題や改善点等について、職員自らが率先して業務改善に取り組む環境をつくり、市民サービスの向上、業務の効率化及び職員の資質向上につなげていくため、職員提案制度の構築を行います。	他市事例等の研究を行ったうえで、9月末までに必要な要綱等を整備し、本市に適した制度を構築します。その後、提案募集、審査等を行い、次年度の業務に提案事項が反映できるよう進めていきます。	他市事例等を研究中で、今後業務改善を先進的に行っている市内企業の取り組みを勉強する機会を設けます。より本市に適した制度を構築できるよう検討しています。	市内企業の先進的な取り組み等も参考に研究しています。構築後に制度を有効に運用できるよう、運用体制も含めた制度構築を引き続き検討しています。	
2	防災力の向上	<p>防災意識を高めるため、自治会等に対し、出前講座を開催します。また、人材育成のため、自主防災活動を積極的に支援します。</p> <p>災害時の対応能力向上を図るため、市民・職員を対象に防災訓練を実施します。</p> <p>防災アプリを有効に活用するため、市民に対し周知・啓発を行います。</p> <p>避難行動要支援者の避難を支援するため、支援等関係者と連携し個別避難計画を作成します。</p>	<p>出前講座を20回開催します。</p> <p>防災リーダー研修会を開催します。</p> <p>自主防災組織及び認定自主防災組織を増やします。 自主防災組織 200団体（82.0%） うち組織認定 62団体（R3年度末55団体）</p> <p>南海トラフ地震を想定した総合防災訓練・凶上防災訓練を実施します。</p> <p>防災アプリ登録者数 1万人を目指します。</p> <p>作成方針を決定しモデルケース10事例の作成を目指します。</p>	<p>出前講座 11回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 1回目 7/23 47人</p> <p>187団体（75.7%） うち組織認定 55団体</p> <p>水害凶上防災訓練（5/30 34人） 総合防災訓練（9/4） 参加団体 48団体 参加者 690人</p> <p>登録者 4,064人</p> <p>作成に向け準備中です。</p>	<p>出前講座 19回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 2回目 1/21 64人 防災リーダー研修 12/11 30人</p> <p>同左 同左</p> <p>同左</p> <p>地震凶上防災訓練 実施 1/20 32人</p> <p>登録者 4,454人</p> <p>個別避難計画 作成件数 53件</p>	<p>出前講座 22回</p> <p>防災リーダーフォローアップ研修 1回目 7/23 47人 2回目 1/21 64人 防災リーダー研修 12/11 30人</p> <p>同左 同左</p> <p>同左</p> <p>総合防災訓練 9/4 参加団体 48団体 参加者 690人 地震凶上防災訓練 実施 1/20 32人 登録者 4,583人</p> <p>個別避難計画 作成件数 60件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況		
3	交通事故ゼロの推進	<p>交通事故防止を図るため、幼児期の子どもに対して交通ルールを身につける交通安全教育を行います。</p> <p>交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し、交通安全教室や啓発活動を実施します。</p> <p>高齢ドライバーのペダル踏み間違いによる交通事故防止や事故時の被害を軽減するため、高齢者に対しペダル踏み間違い急発進等抑制装置（安全運転支援装置）の設置を推進します。</p>	<p>保育園・幼稚園・こども園を対象に交通安全教室を開催します。 24回</p> <p>高齢者等を対象に交通安全教室を開催します。 2回 交通安全啓発を実施します。 12回</p> <p>補助金交付件数 10件</p>	<p>交通安全教室 11回</p> <p>高齢者交通安全教室 1回（9月は中止） 交通安全啓発 13回</p> <p>補助金交付件数 2件</p>	<p>交通安全教室 21回</p> <p>同左</p> <p>交通安全啓発 19回</p> <p>同左</p>	<p>交通安全教室 28回</p> <p>同左</p> <p>同左</p>	
	4	地域防犯の推進	<p>空き家等が放置され、管理不全な状態を防止するため、所有者等に対し啓発・指導を実施します。</p> <p>地域の居住環境の向上を図るため、老朽空き家の所有者等に対し、補助金を交付し除却を推進します。</p> <p>子どもの見守り活動を支援するため、地域で活動する団体等に対し防犯カメラの設置を推進します。</p>	<p>啓発・指導件数 20件</p> <p>補助金交付件数 9件</p> <p>補助金交付件数 5件</p>	<p>啓発・指導件数 13件</p> <p>補助金交付件数 1件（交付決定 6件）</p> <p>補助金交付件数 0件</p>	<p>啓発・指導件数 36件</p> <p>補助金交付件数 8件（交付決定 10件）</p> <p>補助金交付件数 0件</p>	<p>啓発・指導件数 41件 7件対応完了</p> <p>補助金交付 10件（交付決定 10件） 特定空家認定件数 14件 （うち除却件数 10件）</p> <p>補助金交付件数 0件</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	長船支所及び周辺施設整備基本計画に基づく事業の推進	長船3施設（長船町公民館、長船支所、長船分駐所）の耐震対策完了に向け、令和2年度に決定した方針に基づき事業を進めます。	<p>早期の対策を実現させるため、必要な協議・説明を適時行いながら計画的に事業を進めます。</p> <p>主な令和4年度実施予定工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長船支所新築工事完了 ・本庁舎西棟改修工事完了 ・福祉部等・長船支所移転に向けての準備 	<p>長船支所新築工事、本庁舎西棟改修工事共にスケジュールどおり進んでいます。</p> <p>本庁舎については、新しい駐輪場が完成しました。</p> <p>進捗については市ホームページに掲載しています。</p>	<p>長船支所は完成、本庁舎西棟改修工事もスケジュールどおり進み、事務所開設に向け準備を進めています。</p> <p>新事務所の開所予定を、令和5年5月8日（月曜日）とし、周知しています。</p>	<p>長船支所、本庁舎西棟ともに完成し、令和5年5月8日（月曜日）の事務所開所に向け準備を進めています。</p>
6	自治体DXの推進	DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、政府の支援策を活用して高度な専門知識を持つ有識者を引き続き活用し、デジタル技術による地域生活の利便性向上及び市役所内部の業務改善に取り組みます。	<p>瀬戸内市 DX 推進方針に基づき、グループウェアの整備・情報システムの標準化・業務用アプリの開発等、瀬戸内市に必要な情報技術とその導入・運用を総合的に管理し、計画的に推進します。</p> <p>業務のデジタル化による時間・紙・スペース・資源・経費等の無駄の削減に取り組みます。</p>	<p>7月に文書管理システム・電子決裁システムの全庁稼働を実施しました。</p> <p>8月から、テレワーク用PCを各課に配布し、テレワークがしやすい環境づくりをしました。</p> <p>9月から会計事務の電子化について取り組みを始めました。</p>	<p>1月にRevoBrowserを導入しインターネット閲覧の利便性を高めました。</p> <p>本庁会議室のアクセスポイントを設置するための機器を購入しました。</p> <p>デジタル田園都市国家構想によるGIS導入・スマート窓口の検討を行いました。</p>	<p>業務用アプリの開発を行い、使用を開始しました。</p> <p>本庁会議室の無線化を行い、時間・紙等の削減、利便性向上を図りました。</p> <p>「瀬戸内市基盤地図データ整備とGISによるデータ活用事業」・「スマート窓口」について、デジタル田園都市国家構想交付金を申請し、採択されました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	安定的な財政運営の推進	<p>今後も少子高齢化の進展による社会保障費の増加や人口減少による税収の減少が見込まれる中で、歳入・歳出両面において最大限の努力を行い、優先順位付けを的確に行うなどメリハリのある予算を編成することを目指します。</p> <p>市民が将来にわたって安心して暮らせるよう、引き続き健全な財政運営に努めるとともに、中期的財政見通しの改善を図ることを目指します。</p>	<p>10月までに中期財政計画を策定します。この計画を踏まえた予算編成を行います。</p> <p>令和4年度決算見込目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実質公債費比率：18%未満（交付税措置のない起債借入なし） ・財政調整基金残高：33億円程度（標準財政規模の約30%） 	<p>中期財政計画は適正化案まで取りまとめることができ、計画書の策定を進めています。</p>	<p>10月までに中期財政計画を策定し、職員及び議会で説明し、ホームページで公表しました。</p> <p>中期財政計画を踏まえて、令和5年度予算編成を行いました。（交付税措置のない起債借入なし、財政調整基金取崩額7億5千万円）</p>	<p>財政調整基金の令和4年度末残高は、約39.4億円を見込んでいます。</p> <p>実質公債費比率の令和4年度見込は、8.6%（中期財政計画試算）を見込んでいます。</p> <p>約6.1億円の起債の繰上償還を実施し、約25百万円の後年度の利子負担を軽減しました。</p>

令和4年度 総合政策部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総合政策部長 岡崎 清吾 	<p>●使命 総合政策部は、企画・政策を総合調整する部として、市民の幸福度を高めるため、高度化・多様化する行政ニーズを集約し、共有しながら、課題を市政に反映します。 また、持続可能な地域づくりに向けて、市民と行政との双方向による情報と意識の共有化を進め、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>●基本方針 ①第3次瀬戸内市総合計画、太陽のまち創生総合戦略、SDGsの一体的な推進に取り組みます。 ②透明で開かれた市役所を目指して、市民目線での市政情報の広報に取り組みます。 ③定住促進策など「地方創生」関連施策を推進します。 ④市民活動のための支援策を調査研究し、協働のまちづくりを推進します。 ⑤豊かな自然や歴史・文化と共生した魅力あるまちなみの維持に努めます。</p>	所管課	秘書広報課、企画振興課		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
			14人	8人	22人
		一般会計	1,502,059 千円		
		特別会計	16,316 千円		
		計	1,518,375 千円		
(うち人件費)	(107,900 千円)				

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	ふるさと納税（応援寄附金）制度の推進 ・新たな返礼品の開発や品目の拡充により、ふるさと納税による税外収入の確保を推進します。	・歳入確保と市のイメージアップのため、寄附者との関係維持やお礼の品の開発・拡充に取り組みます。 目標：予算額の7億円以上（特設サイト分含む） 新規返礼品：100品以上 ・効果的な返礼品のプロモーションに取り組みます。 ・経費率を下げるとの施策を検討します。	・9月末現在寄附金総額（未確定数値）は285,462,500円でした。新規お礼の品は150品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・9月に契約し、SNS、特設サイト改修等準備しています。 ・業務詳細を確認、検討しています。	・1月末現在寄附金総額（未確定数値）は843,526,643円でした。新規お礼の品は492品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・返礼品デザイン変更、事業者取材、とれたて便等実施しています。 ・業務体制について、検討しています。	・3月末現在寄附金総額（未確定数値）は918,301,021円でした。新規お礼の品は554品開発し、拡充に取り組んでいます。 ・SNSでふるさと納税に関する情報や市の魅力について発信しています。 ・同左

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 市のさまざまなプロジェクトを紹介し、特設サイトからのふるさと納税を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄附しやすい特設サイトに改修します。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月のサイト改修に向け、作業しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つのプロジェクトを追加しました。サイト改修は3月に完了する見込みです。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントから寄附するだけではなく、返礼品から直接寄附できるよう修正を行いました。 	
2	広報等による市内 外への情報発信と シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> 市外に向けて市の魅力や取組等を広く発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌を年4回発行することにより市のファンを獲得し、関係を継続します。 ファンクラブ会員目標数： 2,500人	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は9月に発行し、11月、12月、2月に発行を計画しています。 ファンクラブ会員 9月末 1,950名	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は12月に紙媒体で発行し、2月、3月にWeb版を発行する予定です。 ファンクラブ会員 1月末 2,098名	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌は、2月冬号、3月春号を発行しました。 ファンクラブ会員 3月末 2,172名
		<ul style="list-style-type: none"> 「広報せとうち」特集ページで重点施策を分かりやすく伝え、市政への関心を高めるよう努めます。また、今後の方針と戦略をまとめた市勢要覧を作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月号、11月号、2月号で重点施策の特集を掲載します。 11月末までに統合報告書の内容を盛り込んだ市勢要覧を作成し、市のプロモーションに活用します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月号に重点施策を掲載しました。 統合報告書の作成を12月末までに変更し、統合思考について学びながら進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 11月号に重点施策を掲載しました。 統合報告書の作成を3月上旬までに変更し、作業を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 2月号へは紙面の関係上重点施策を掲載できませんでした。 3月末に統合報告書を完成させました。
		<ul style="list-style-type: none"> 効果的かつタイムリーな広聴・広報により市内外への正確で迅速な市政情報の提供に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitter、LINEやYoutube等のSNSを活用し、市の情報を発信します。 発信回数：10本以上(月間) 友達登録：10,000人以上 投稿動画数：20本以上(年間)	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人強です。 Youtube配信は方針等検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人弱です。 Youtube配信検討は次年度に変更します。 	<ul style="list-style-type: none"> Twitterは、月10本以上発信しています。 LINE友達登録：8,300人弱です。
3	国内・国際交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流員の配置による国際交流と国際理解と国際貢献の推進に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人への情報発信やコミュニケーションの円滑化を図るため職員向けに「やさしい日本語」講座を実施し、多文化共生を推進します。 講座回数：年2回 研修参加者数：15人	<ul style="list-style-type: none"> 「やさしい日本語」講座と「語り合いの行事」を9月に実施しました。参加者数を増やせるようにPRしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの「やさしい日本語」講座の開催準備をしていますが、学校・企業にも参加を働きかけています。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定応募者数に達しなかったため講座は開催しませんでした。別途要望があり、職員向けに「やさしい日本語」講座を開催しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な情報をまとめた外国人向けパンフレット等の多言語化(英語・フランス語)を年度内に完了します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けパンフレット等の多言語化に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別マニュアルの多言語化に取り組みました。次年度の動画作成に向け、現在、準備を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の動画作成に向け、現在、準備を進めています。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ウクライナからの避難民支援として、市としてできる難民受入体制を整備するとともに、ホームページ掲載や難民問題を伝えるイベント等で周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入体制についての要綱、ホームページを整備中です。12月に難民問題を伝えるイベント開催の準備をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・UNHCRとの連携についてホームページを整備しました。12月に表彰イベントを開催し、163名の参加がありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・UNHCRとの連携について、SNSで情報発信を継続しています。
4	地方創生の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生による地域活性化を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住交流促進協議会と連携し、移住者の増加やリモートワークを推進する企業等の誘致を図ります。 相談会からの移住件数: 5組 企業等からの相談件数: 40件 会員制度登録事業者数: 15件 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワーク会員制度のPRや移住相談会7回(大阪2回、ナイター5回)への出展で、24件の相談に対応し、22件の現地案内を実施しました。移住者の受入は7組14人、会員制度登録事業者は3件となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会12回(大阪3回、東京2回、ナイター7回)への出展で、84件の相談に対応し、31件の現地案内を実施しました。移住者の受入は9組19人、会員制度登録事業者は7件となっています。
		<ul style="list-style-type: none"> ・離島振興法の改正に伴い、前島の特性や資源を活かし、活性化を目指すための離島振興計画を年度内に策定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の離島振興法改正の動向について情報収集を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前島住民への意見聴取を行い、前島振興計画案を作成し、岡山県に提出しました。今後、岡山県離島振興計画としてパブリックコメントが実施される予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県で岡山県離島振興計画としてパブリックコメントを実施中です。(～4/17)

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	市民協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体を支援することにより、協働のまちづくりを推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税制度を活用した市民活動団体支援制度の規定を整備します。 	<ul style="list-style-type: none"> 先進地の制度設計に携わった公益財団法人に制度内容の聞き取りを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 先進自治体に支援制度内容の聞き取りを行い、制度設計を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援について包括連携協定を締結している団体に具体的な制度案を作成してもらうように依頼しました。
6	持続可能な地域コミュニティづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい自治組織づくりに取り組む地域に対し、地域の要望に応じた支援を行います。 支援団体数：3団体 	<ul style="list-style-type: none"> 邑久地区、本庄地区、磯上地区において既存組織の組織力強化につながる取組を支援しています。邑久地区では行政委員を対象とした交流会、本庄地区では行事参加者へのアンケートを実施しました。また、福岡地区において地域のつながりを広げることを目的に防災をテーマに取組を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 邑久地区は2回目の行政委員交流会、本庄地区はアンケート結果のコミュニティ便り掲載、磯上地区は空き家問題をテーマとした地域を考える会、福岡地区は防災をテーマとした講演会とそれぞれの取組を支援しました。また、美和地区で開催された協議会の今後の在り方を考える会に参加し、新しい自治組織制度について説明しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい地域自治組織を設立した場合に活用できる補助金を創設しました(4月1日施行)。美和地区で行われた新しい自治組織設立についての会議に参加しました。美和地区では4月に新組織設立の予定です。行幸地区の各種団体を集めた情報交換会の開催を支援しました。年間を通じて鹿忍地区の役員会等に参加し、適宜助言等を行いました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の活動拠点であるコミュニティセンターを適切に維持・管理します。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的なコミュニティセンターの改修・修繕を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事では、4月に建設課に分任し、8月入札終了、12月初旬を目途に工事完了予定です。 その他2施設の修繕を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事は1月初旬に工事が完了し、実地検査を終了しました。 その他3施設(4箇所)の修繕を行いました。 今後、年度末内に2施設(3箇所)の改修・修繕予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度内に5施設(7箇所)の修繕、4施設(5箇所、豊原コミュニティセンター駐車場舗装工事含む)の工事・改修を行いました。
7	<p>持続的な公共交通網の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画に基づき、新たな公共交通不便地域が生じないよう公共交通網の維持に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月末の路線廃止が決定している民間バス路線「牛窓(邑久駅・北回り)西大寺線」を市営バス路線として引き継ぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月末までに、牛窓中央線を市営バス路線として運行するために必要な手続きや関係機関との調整が完了し、10月から新たなバス路線として運行する準備が整いました。 また、邑久駅以西の瀬戸内市内路線については、大富-邑久駅線(南)(北)を循環化し、カバーします。 	<ul style="list-style-type: none"> 10月から新たな市営バス路線として「牛窓中央線」の運行を開始し、月に3,000人以上が利用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 牛窓中央線の利用者数は増加傾向にあり、3月は4,000人を超える利用がありました。 特に、牛窓方面から高校への通学で利用する生徒が増加しています。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
8	<p>計画的かつ調和のとれた土地利用の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活と産業活動が調和した良好な地域環境の形成と市の均衡ある発展を図るため、計画的かつ調和のとれた土地利用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用に関する基本的かつ総合的な長期計画である「瀬戸内市国土利用計画」を市民参画により策定します。また策定を通して都市計画の導入の可否を検討し、その是非について方針を決定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月末までに基礎調査、タウンミーティングなどの市民参画の取組が完了しました。4月から国土利用計画審議会を6回開催し、9月に審議会から都市計画導入が必要である旨の中間答申を受けました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の審議会を経て1月初旬に素案を取りまとめ、岡山県へ意見調整を依頼しました。2月から1ヶ月間パブリックコメントを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会の答申を受け、3月末に国土利用計画を策定しました。
	<p>官民連携で、過疎地域のまちなかの再生・活性化（牛窓リノベーションプロジェクト）を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生拠点施設「牛窓テレモーク」を起点に、民間事業者や金融機関とも連携しながら、牛窓エリアの賑わい創出を促進します。 ・エリア内での創業件数：4件以上 ・官民で形成するエリアプラットフォームの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年の供用開始以降の拠点施設への来館者は10万人程度で、7月から音楽スタジオの運営が本格的に始まりました。 ・来年1月にまちづくりファンドを活用して1事業者が創業予定です。 ・エリアプラットフォームの構築において採択を受けた国の補助金の申請を10月初旬に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年の供用開始以降の拠点施設への来館者は10万人程度で、7月から音楽スタジオの運営が本格的に始まりました。 ・来年1月にまちづくりファンドを活用して1事業者が創業予定です。 ・エリアプラットフォームの構築において採択を受けた国の補助金の申請を10月初旬に行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者は12万人程度となっています。1階に花屋がテナント入居する予定で、4月開業を目標に3月から改修工事が行われる予定です。 ・まちづくりファンドを活用した1事業者が2月から創業を開始します。 ・民間の担い手の活動調査を終了し、2月から担い手を対象にした交流会や自治会関係者等を加えた話し合いを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者13万人程度となっています。テナントとして、3月末に花屋が入居しました。 ・まちづくりファンドを活用した1事業者が2月に創業を開始しました。また、3月に花屋が開業しました。 ・担い手や行政委員、関係機関の交流会などを開催し、話し合いを通して、3月末に将来ビジョン策定等の主体となる「牛窓まちなかエリアプラットフォーム」を構築しました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
9	SDGsの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な瀬戸内市の実現に向けたローカルSDGsを実現します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 推進方針を策定するとともに、市民等への普及啓発を行います。 普及啓発イベント開催数：2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市が開催した「未来わくわくSDGsフェスタ」に岡山連携中枢都市圏として協力し、パネル展示を行いました。 また、職員向けSDGs研修を開催しました(参加人数25人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けSDGs講演会「エネルギーと環境を考える」を開催しました(参加人数45人)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け普及啓発イベント「せとうちSDGs フォーラム」を開催しました(参加人数27名)。 推進方針については総合計画を基本に進めることとし、瀬戸内市統合報告書にもSDGsの推進を掲げました。
		<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し「瀬戸内市オリジナル SDGs カードゲーム」を活用した出前授業を開催し、市民と一緒にSDGs 推進を促進します。 出前授業開催数：10回 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し、SDGsカードゲーム出前授業を市内小学校4校(6クラス/約150人)で実施しました。現時点で未実施の小学校においても、年度内に開催できるよう調整しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・邑久高校と連携し、SDGsカードゲーム出前授業を市内小学校8校(13クラス/約300人)で実施しました。 また、市内企業、地域団体3か所でカードゲーム出前講座を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「せとうち SDGs フォーラム」の中でSDGsカードゲーム体験会を開催し、高校生と一緒に市民へPRを行いました。 出前授業等開催数：11回 ・小学校出前授業 8校(13クラス/約300人) ・市民向け出前講座 3回(参加者約50人) 	

令和4年度 市民生活部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
市民生活部長 坪井 智美	<p>●使命</p> <p>市民生活部は、市役所の窓口として、職員一人ひとりが市役所の顔であるという意識を持ち、常に市民の立場に立ち、市民の皆様に満足していただける迅速かつ正確な質の高いサービスを目指すとともに、環境に配慮した美しいまちの実現のため、環境負荷の少ない脱炭素社会の実現を目指します。</p> <p>●基本方針</p> <p>①市民一人ひとりがお互いの違いや多様性を認め合い、個性を尊重し合うことができる、みんなの思いやりがあふれる人権尊重のまちを目指します。</p> <p>②健康で自立した生活が営めるよう市民の健康づくりを支援します。</p> <p>③公平な課税を行うとともに、市民の納税意識を高め、市民の負担感を公平なものにします。</p> <p>④市民、事業者と行政の協働により、ごみの減量化・資源化を推進するとともに、新エネルギーの導入等による「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。</p>	所管課	市民課、国保年金医療給付課、税務課、牛窓支所、長船支所、裳掛出張所、生活環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、長船クリーンセンター、消費生活センター		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			69人	37人	106人
		一般会計	3,300,029		千円
		特別会計	4,919,197		千円
		計	8,219,226		千円
	(うち人件費)	(516,454)		千円)	

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	市民のニーズに配慮した窓口サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 支所・出張所でマイナンバー関係の事務を行う体制を整え、マイナンバーカードの普及啓発に努めます。 支所・出張所でマイナンバーカードの手続きが行えるよう環境を整備します。 市役所以外での出張申請を開始します。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月から支所・出張所でマイナンバーカードの申請・交付を開始しました。 9月に市内21か所のコミュニティセンター等で出張申請を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 10月に健診会場で出張申請を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 2月に瀬戸内市民図書館、牛窓町公民館、ゆめトピアで夜間出張申請を行い、本庁では夜間申請サポートを実施しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1		<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの交付率45%を目指します。(前年度交付率39.4%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月末のマイナンバーカードの交付率は44.77%です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月末のマイナンバーカードの交付率は59.3%です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月末のマイナンバーカードの交付率は67.6%、24,582枚のカードを交付しました。
2	<p>人権啓発活動の推進</p> <p>・男女共同参画社会を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の人権問題に対する意識を醸成します。 ・市民が人権問題を正しく理解し、行動できるようホームページや市広報紙等により啓発します。 ・人権問題への関心を高めるため、関係機関と連携し、啓発活動を行います。 ・市民向け講座や啓発パネル展を実施します。 ・性の多様性に対する理解が深まり、性的少数者が安心して暮らせる環境を整備するため、パートナーシップ及びファミリーシップ宣誓制度を導入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等で、人権侵害防止や相談窓口について、随時発信しています。 ・岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会と連携し、「人権の花」運動を実施しています。また、人権スポーツふれあい教室を実施しました。 ・6月の男女共同参画週間に合わせ、啓発パネル及び参考図書を展示しました。 ・7月にワークショップを開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで他の関係機関が実施するセミナー等について、随時掲載しています。 ・市内の小学校で12月に「人権の花」運動感謝状贈呈式をしました。 ・11月の岡山県男女共同参画推進月間に合わせ、啓発パネルを展示しました。 ・12月に多様性をテーマにしたワークショップを開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・人権擁護委員の活動をまとめたものを展示し、人権問題への関心を高める広報を実施しました。 ・11月と3月に男女共同参画に関する講座「せとうちゼミナール」を実施しました。 ・ワークショップで制作した書道作品をゆめトピアで展示し、多様性に対する理解を広める啓発を実施しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>・地域おこし協力隊の事業及び協働提案事業を活用し、ハンセン病問題の啓発事業を進めます。</p>	<p>・DV防止啓発活動を実施するとともに、関係機関と連携して対応します。</p> <p>・ハンセン病問題をテーマにした事業を実施し、市民がハンセン病問題へ関心を持つ契機とします。</p>	<p>・10月1日にパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入し、パートナーシップ宣誓制度の相互利用に関する協定を県内5市と締結します。</p> <p>・11月のパープルリボン運動に関する展等の準備をしています。</p> <p>・6月の「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」に合わせて実施したパネル展で、共同提案事業で制作したDVDを放映しました。また、市内図書館でDVDの貸出を開始しました。</p>	<p>・10月1日に左記制度を導入し、県内5市と制度の相互利用に関する協定を締結しました。</p> <p>・オリジナルの啓発グッズを作成し配布しました。</p> <p>・11月にパープルリボンツリーを市役所と図書館に展示しました。</p> <p>・協働提案事業を活用し、国立療養所が所在する長島から、入所者や長島にゆかりのある方等とのトークを収録したポッドキャスト（インターネット上の音声・動画視聴サービス）を配信しています。</p>	<p>・同左</p> <p>・性の多様性を支援する啓発グッズを作成し、配布しました。</p> <p>・同左</p> <p>・協働提案事業で制作したDVDを、市内小中学校へ配付しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
3	<p>国民健康保険制度の適正運営と保健事業の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防や早期発見により、国民健康保険制度の適正運営につなげます。 高額な医療費発生につながる糖尿病予防のため、健診の推進に取り組めます。 ナッジ理論を用いた新たな受診勧奨を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導は、従来の面接方式に加え、時間、場所に縛られないオンライン指導を導入し、指導実施率の向上に繋がります。 (実施率40% 目標) 全身疾患を引き起こす原因となる歯周病疾患の早期発見と予防のため、歯周病検診を実施します。また、受診率向上に向け、関係課と連携して周知を図ります。 (受診率10%目標) 特定健康診査についてナッジ理論を用いた受診勧奨通知と電話勧奨により、受診率の向上を図ります。 (受診率 40%目標) 	<ul style="list-style-type: none"> 集団健診と人間ドックは、当日保健指導を実施しています(指導数64人) 個別健診の特定保健指導対象者にオンライン保健指導の案内チラシを送付しました。 (送付数32人) 対象者を抽出し、2月末までに受診してもらうように受診券を送付しました。(589人) ナッジ理論を用いた受診勧奨を8月に発送しました。 (3,989人) 	<ul style="list-style-type: none"> 集団健診と人間ドック当日の保健指導数合計 73人 新たに始めたオンライン保健指導を1人に行いました。 歯周病検診受診数は35人で、現在の受診率約5.9%となっています。 ナッジ理論を用いた健診案内を11月は3,330人、1月は1,013人に送付し、さらに電話勧奨を537人に対して行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導実施率は現在13.8%、指導数は76人です。(現在集計中のため2月末の数字) 最終は令和5年9月以降確定します。 歯周病検診受診数は57人で受診率は約9.6%となりました。 特定健診受診率は現在31.2%です。 (現在集計中のため2月末の数字) 最終は令和5年9月以降確定します。
4	<p>後期高齢者の健康寿命の延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者に自らの健康に対する意識の向上を促し、健診の重要性を伝えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 80歳の方を対象に歯科健診を実施し、口腔機能の維持と健康寿命延伸に繋がります。また、関係課と連携し、周知を図ります。 (受診率 20%目標) 	<ul style="list-style-type: none"> 2月末までに受診してもらうように受診券を送付しました。 (468人) 	<ul style="list-style-type: none"> 80歳対象の歯科健診受診数65人で受診率は現在約13.8%です。 	<ul style="list-style-type: none"> 80歳対象の歯科健診受診数は89人で受診率は約19%となりました。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	<p>適正課税並びに納税者の利便性向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納税への理解を進めます。 ・正確な課税資料による、適正な課税と業務効率の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税の仕組みの大切さ、申告等必要な手続を理解してもらえよう更に分かりやすい広報を行います。 ・資料課税の入力、家屋敷課税の調査、未申告者への通知を適切に行い、公平な課税を実現します。 また、申告相談や実地調査の実施や税務署との連携による取組を進めます。 ・登記異動等の資料並びに現地確認等による家屋の異動（新築、滅失）等の把握並びに適切な家屋評価に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方に対する減免制度について、引き続きホームページ等で周知を図りました。 ・適正課税に向け、税務署から入手した資料内容の課税への反映、家屋敷課税の調査、未申告者への通知等を実施しています。 ・来年度課税に向け、登記異動等資料並びに現地確認等による土地、家屋異動等の適切な把握、評価を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年分申告相談に向け、税務署と連携を図り、広報紙、ホームページで制度の紹介、申告相談の案内を行いました。 ・適正課税に向け、税務署から入手した資料、現地確認等で把握した内容の反映並びに未申告者への対応を実施しました。 ・来年度課税に向け、賦課期日である本年 1 月 1 日現状把握のため、新築家屋評価、登記異動の把握等を行い、その内容の適正な課税への反映に向けた準備を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2 月 16 日から 3 月 15 日にかけて、申告相談会場を設けました。また、電子申告への誘導のため、申告相談にあわせ、税務署と連携し、促進 PR を行いました。 ・課税資料、現地確認等で把握した内容により、未申告者への対応、来年度の適正課税への反映作業等を実施しました。 ・来年度課税に向け、賦課期日である本年 1 月 1 日現在の状況を精査し、課税に反映させる作業を実施しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から導入が予定される、国の方針による地方税共通納税システムの税目拡大にあわせ、固定資産税、軽自動車税（種別割）、個人住民税（普通徴収）、国民健康保険税納付に、クレジットカード決済、ペイアプリ決済の導入の準備を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入に向け、地方税共同機構、電算会社等関係機関と調整を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度より、固定資産税、軽自動車税（種別割）、個人住民税（普通徴収）において、地方税共同機構が提供する「地方税お支払いサイト」を利用したクレジットカード決済、ペイアプリ決済を導入します。 	<ul style="list-style-type: none"> 地方税共同機構が提供する「地方税お支払いサイト」で公開されている支払い方法等について、広報を行いました。
6	<p>滞納のないまちを目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> 滞納者の生活実態や財産を正確に把握し、適正な滞納整理を進めます。 収納率向上のため、県等と連携のもと検索実施や合同公売会への参加等を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度3月末収納率一般税（現年分）97.88%以上の収納達成を目指します。 また、自発的な納税意識の啓発を行い、滞納額の増加を防ぐため、納税相談等を行います。 検索の実施 検索件数8件以上 合同公売会への参加 参加回数1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 9月末現在収納率一般税 現年 56.57% 滞繰 8.80% 検索実施件数 3件 合同公売会は、コロナの影響で未定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 1月末現在収納率一般税 現年 83.43% 滞繰 14.55% 検索件数 7件 合同公売会は、コロナの影響で中止です。 3月末現在収納率一般税 現年 97.79% 滞繰 15.32% 自発的な納税意識の啓発、滞納額増加を防ぐため、随時納税相談等を実施しました。 同左 同左

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7 新火葬場の整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市との広域整備に係る基本協定に基づき、新火葬場への進入路・敷地造成工事を進めます。また、新火葬場建築工事に係る設計及び施工を進めるとともに、必要な業務を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に引き続き、新火葬場への進入路・敷地造成工事を進めます。 新火葬場建築工事に係る設計及び施工を行う事業者と契約を締結し設計施工業務を進めます。 新火葬場整備地までの上水道管布設工事を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 進入路・敷地造成工事 第1期工事 5月末に完了 第2期工事 9月末進捗率 49.2% 建築工事 6月末に契約を締結し、条件整理・基本設計を進めています。 上水道管布設工事 ポンプ場、受水槽の用地測量を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 進入路・敷地造成工事 第1期工事 5月末に完了 第2期工事 1月末進捗率 94.5% 建築工事 同左 上水道管布設工事 を3工区に分け、第1工区の工事を施工中です。 	<ul style="list-style-type: none"> 進入路・敷地造成工事 第2期工事 2月末に完了 第3期工事 3月末進捗率 8.9% 計画どおりの進捗です。 建築工事 基本設計の内容精査中で、計画どおりの進捗です。 上水道管布設工事 第1工区の工事(L=540m)が完了。第2工区のポンプ施設工事を進めています。また、上水道管布設工事第3工区(L=290m)の測量を進めています。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
8	<p>地球温暖化防止対策の推進</p> <p>・瀬戸内市ゼロカーボンシティ宣言に基づき、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して各種施策を推進します。</p>	<p>・国の補助事業などを活用したゼロカーボン実現に向けた施策を検討していきます。</p>	<p>・地域特性等に応じた先行的な取組を検討し環境省の2事業へ応募しました。</p> <p>『脱炭素先行地域づくり事業』</p> <p>・8月に事業へ応募し、現在審査中です。採択されれば、先行地域と公共施設の電力消費に伴うCO2排出量の2030年実質ゼロ達成を目指します。</p> <p>『重点対策加速化事業』</p> <p>・4月に事業への応募を行いました。5月末に事業が採択され、個人や事業者へ屋根置き等自家消費型の太陽光発電設備設置の補助を行うなどの重点対策を来年度から複合的に実施します。</p>	<p>・環境省の交付金事業を活用した脱炭素の取組を検討しています。</p> <p>『脱炭素先行地域づくり事業』</p> <p>・8月に申請した後、11月に不選定との連絡がありました。2月に再度申請を行うための準備を進めています。</p> <p>『重点対策加速化事業』</p> <p>・次年度から、市民向けの太陽光発電設備設置等の補助を行う予定としており、募集の準備等を進めています。また、公共施設への太陽光発電設備等も行う予定としています。</p>	<p>・環境省の交付金事業を活用した脱炭素の取組を検討しています。</p> <p>『脱炭素先行地域づくり事業』</p> <p>・2月に再度申請を行いました。現在審査中です。採択されれば、先行地域と公共施設の電力消費に伴うCO2排出量の2030年実質ゼロ達成を目指します</p> <p>『重点対策加速化事業』</p> <p>・同左</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
9 ごみの排出抑制や循環型社会施策の推進と環境関連施設の適正な維持管理	<p>・ごみ減量化・資源化を推進します。生ごみ処理機の推進、出前講座や広報紙を通じて啓発を図ります。</p> <p>・クリーンセンターかもめと長船クリーンセンターの処理施設の集約化整備を行います。</p>	<p>・生ごみ処理機購入補助事業の促進を行い、ごみの減量を図ります。 目標 43件</p> <p>・出前講座や広報紙による啓発活動を行います。 目標 6回</p> <p>・ごみ減量率は、令和4年度末で17%を目指します。</p> <p>・クリーンセンターかもめに焼却灰保管ヤード、資源化物保管ヤードの建築工事を進めます。</p> <p>・焼却を停止している長船クリーンセンターの解体に向けた設計に関わる事前調査を進めます。</p>	<p>・生ごみ処理機25台の購入費に対し補助金を交付しました。</p> <p>・出前講座を3回開催、広報紙による啓発を3回実施しました。 啓発活動6回</p> <p>・ごみ減量率は、次のとおりです。 4月末 15.7% 5月末 12.5% 6月末 14.0% 7月末 14.1% 8月末 12.9% 9月末 12.9% 参考:令和3.9月末 12.2%</p> <p>・9月末にクリーンセンターかもめのストックヤード整備工事の請負工事契約が締結でき、整備工事を進めています。</p> <p>・9月末に長船クリーンセンターの解体に向けた事前調査の請負契約が締結でき、解体調査を進めています。</p>	<p>・生ごみ処理機33台の購入費に対し補助金を交付しました。</p> <p>・同左</p> <p>・ごみ減量率は、次のとおりです。 10月末 13.7% 11月末 14.0% 12月末 13.8% 1月末 14.4%</p> <p>参考:令和4.1月末 14.1%</p> <p>・クリーンセンターかもめのストックヤード整備工事を進めています。 工事の進捗率は9%です。</p> <p>・長船クリーンセンターの解体に向けた事前調査を行っています。</p>	<p>・生ごみ処理機40台の購入費に対し補助金を交付しました。</p> <p>・出前講座を3回開催、広報紙による啓発を5回実施しました。 啓発活動8回</p> <p>・ごみ減量率は、次のとおりです。 2月末 15.3% 3月末 15.6%</p> <p>参考:令和4.3月末 15.2%</p> <p>・クリーンセンターかもめのストックヤード整備工事を進めています。 工事の進捗率は14.1%です。</p> <p>・長船クリーンセンターの解体に向けた事前調査が完了しました。調査結果を基に施設の解体設計を次年度に行います。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
10	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫の繁殖を抑制するとともに、糞尿等による生活環境被害を防止し、併せて市民の動物に対する愛護意識の高揚を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助を行い、繁殖を抑制します。 目標数：180匹 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金を92匹に対して交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金を194匹に対して交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金を303匹に対して交付しました。
11	消費者被害の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・被害に遭わないための消費者教育を推進します。また、詐欺被害に遭いやすい高齢者の方に啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者のための豆知識を広報紙やホームページ、出前講座等で啓発を図ります。 広報紙、ホームページへの掲載 目標回数：10回 出前講座 目標回数：6回 ・特殊詐欺の主な被害者である高齢者に対し、防犯機能付き電話機の購入費の一部を補助し、特殊詐欺の被害防止を図ります。 目標台数：30台 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を6回開催、広報紙による啓発を2回実施しました。 ・防犯機能付き電話機の購入費12台に対して補助金を交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を8回開催、広報紙による啓発を9回実施しました。 ・防犯機能付き電話機の購入費20台に対して補助金を交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座を9回開催、広報紙による啓発を11回実施しました。 ・防犯機能付き電話機の購入費27台に対して補助金を交付しました。

令和4年度 福祉部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
福祉部長 青山 祐志	<p>●使命 福祉部は、高齢者、障がい者、生活困窮者の方々等が、住み慣れた地域で、笑顔で暮らすことができるように、相談窓口や各種福祉・介護サービスの充実を図るとともに、関係者の連携を深め、共に支えあう地域づくりを大切にされた福祉行政を推進します。</p> <p>●基本方針 ①障がい者や生活困窮者が自立し活躍できるよう、相談体制を強化するとともに、就労支援体制の充実を図ります。 ②高齢者が安心して元気に生活できるよう、高齢者の社会参加を促進するとともに、高齢者支援や介護予防など、ニーズに合った介護・福祉サービスの充実を図ります。 ③誰もが住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けられるまちを目指して、地域包括ケアシステムを充実し、地域共生社会の実現に努めます。</p>	所管課	福祉課・いきいき長寿課・トータルサポートセンター		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
		28人	17人	45人	
一般会計		2,720,802	千円		
特別会計		4,464,349	千円		
計		7,185,151	千円		
(うち人件費)		(247,632	千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 生活困窮者自立支援事業及び障害者相談支援事業の充実	<p>自立相談支援事業及び家計相談支援事業を、委託先の社会福祉協議会と連携して実施します。</p> <p>また、就労準備支援事業を実施し、就労能力が低いなどの課題を抱える人に対して、就労の機会を提供し、就職活動等の総合的な支援や就労体験等を通じて最終的に一般就労に結びつけ、自立を促進します。</p> <p>障害者相談支援事業を、委託先の障害者相談支援事業所と連携して実施します。事業の推進により、市内の障がいのある人及びその家族等に対して、福祉サービス等の社会資源に関する情報提供を行い、関係機関と連携を取りながら、障がいのある人の地域生活を支援します。</p> <p>発達障害児者及び家族等支援事業を、専門相談員により実施します。事業の推進により、市内の発達障がいのある人及びその家族等に対して、福祉サービス等の社会資源に関する情報提供を行い、関係機関と連携を取りながら、発達障がいのある人の地域生活を支援します。</p>	<p>生活困窮者に対する第2のセーフティネットとして設置した生活相談支援センターの利用促進や運営を支援します。また、センターやジョブスポットせとうちと生活相談支援員との連携により就労支援を実施し、生活困窮者の生活が安定するよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労者数 年間10人 <p>委託先の障害者相談支援事業所との連携を図り、地域課題を把握し、民生委員や関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 年間340件 <p>発達障がいに関する情報提供や助言を行うとともに、相談内容により教育や事業所等の関係機関と連携し、相談支援体制の充実に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 年間290件 ・支援者研修会 年間9回 	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット及び就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労者数 4人 <p>委託先の障害者相談支援事業所と連携を密にし、相談支援体制の充実が図れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 198件 <p>専門相談の実施、教育、保育、保健等との研修会を通じて、関係機関と連携を図り適切な支援を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 197件 ・支援者研修会 6回 	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット及び就労支援員の連携により、就労支援を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労者数 6人 <p>委託先の障害者相談支援事業所と連携を密にし、相談支援体制の充実が図れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 339件 <p>専門相談の実施、教育、保育、保健等との研修会を通じて、関係機関と連携を図り適切な支援を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 282件 ・支援者研修会 8回 	<p>生活相談支援センター、ジョブスポット及び就労支援員の連携により、就労支援を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労者数 8人 <p>委託先の障害者相談支援事業所と連携し、事業所への助言を行うなど体制の充実を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 397件 <p>専門相談の実施、教育、保育、保健等との研修会を通じて、関係機関と連携を図り適切な支援を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援件数 318件 ・支援者研修会 9回

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	ひきこもり支援推進事業を、委託先の社会福祉協議会と連携して実施します。様々な事情により社会との関わりを断ち、ひきこもり状態になっている人の社会参加へのきっかけづくりを支援します。	ひきこもりサポートセンターの存在について、認知してもらえよう普及啓発を行います。また、関係機関との連携を図り、ひきこもり者への適切な支援を行います。 ・相談支援件数 年間300件	ひきこもりサポーター養成講座の開催、市民講座の広報活動等を実施し、ひきこもりサポートセンターの普及啓発に努めています。また、ケースに応じて、各関係機関と連携しています。 ・相談支援件数 233件	市民講座を開催し、ひきこもりや生活困窮者への支援に対する市民の理解を深めました。また、ひきこもりサポーターと協力して様々なイベントを実施したほか、内職の場を設けるなど社会参加を促しています。 ・相談支援件数 399件	普及啓発活動として、ひきこもりサポーター養成講座、市民講座等を開催しました。また、関係機関と連携し、引きこもり者に対して内職の場を設けたりボランティア活動の機会を提供したりするなど、社会参加を促しました。 ・相談支援件数 532件 ・センター利用件数 448件
2	高齢者福祉の推進 認知症に関する正しい理解を広め、認知症高齢者やその家族が安心して地域で日常生活を過ごせるよう、認知症施策を推進します。	認知症に関する正しい知識を多くの人に知ってもらい、認知症に対する偏見をなくすことで、地域での見守りや認知症高齢者やその家族が暮らしやすい地域づくりに繋がります。 認知症サポーター養成講座修了者数(新規) 200人 徘徊する可能性の高い認知症高齢者の情報の登録及び関係機関との情報共有により、行方不明時の早期発見・早期対応等が可能となるよう体制の充実に取り組みます。	認知症サポーター養成講座を3か所で実施しました。 認知症サポーター養成講座終了者数(新規) 163人	認知症サポーター養成講座を12か所で実施しました。 認知症サポーター養成講座終了者数(新規) 213人	認知症サポーター養成講座を12か所で実施し、目標達成できました。 認知症サポーター養成講座終了者数(新規) 213人(累計) 4,032人 認知症サポーター養成講座内で高齢者徘徊対策促進事業の啓発も行いましたが未達成に終わりました。次年度も継続して取り組みます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>住み慣れた地域で元気に自分らしい暮らしが出来るよう高齢者の在宅福祉を推進します。</p>	<p>高齢者徘徊対策促進事業登録者数 (新規) 10人</p> <p>タクシー券の配布により、外出を促すことで、介護予防に繋がるとともに、免許返納を促進することで、交通事故のリスクを軽減し、安心安全な暮らしに繋がります。 <利用者数> タクシー活用事業 600人</p> <p>補聴器の購入助成を行い、外出や社会参加を促すことで、認知症予防・介護予防を推進します。 <利用者数> 補聴器購入助成事業 10人</p>	<p>高齢者徘徊対策促進事業登録者数 (新規) 3人</p> <p>タクシー活用事業 高齢福祉タクシー ・利用券利用者数 495人</p> <p>補聴器購入助成事業 高齢者補聴器購入費 ・助成金利用者数 5人</p>	<p>高齢者徘徊対策促進事業登録者数 (新規) 3人</p> <p>タクシー活用事業 高齢福祉タクシー ・利用券利用者数 768人</p> <p>補聴器購入助成事業 高齢者補聴器購入費 ・助成金利用者数 10人</p>	<p>高齢者徘徊対策促進事業登録者数 (新規) 3人</p> <p>タクシー活用事業 高齢福祉タクシー ・利用券利用者数 796人</p> <p>補聴器購入助成事業 高齢者補聴器購入費 ・助成金利用者数 12人</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>高齢者が働くことや地域・社会に参画することによって、生きがいを感じることができる施策を推進します。</p>	<p>生涯現役促進協議会や社会福祉協議会、シルバー人材センター、老人クラブ連合会、商工会、岡山商科大学等の関係機関と連携し、就労に関する各種事業を推進することによって働く意欲のある高齢者が能力や経験を生かし、年齢に関わりなく働くことができる生涯現役社会を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労相談窓口業務 就業者数 56人 ・ マッチング支援事業 就業者数 16人 ・ 仕事体験会 就業者数 3人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労相談窓口業務 就業者数 54人 ・ マッチング支援事業 就業者数 0人 ・ 仕事体験会 就業者数 0人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労相談窓口業務 就業者数 75人 ・ マッチング支援事業 就業者数 4人 ・ 仕事体験会 就業者数 4人 	<p>仕事の切出しを含めパート・短時間労働の求人情報を広く収集し、求職者へ情報提供できたことにより就業者が昨年度比88%伸びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労相談窓口業務 就業者数 94人 <p>ハローワークと共同で就職相談会を開催したことにより就業者が昨年度比125%伸びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッチング支援事業 就業者数 18人 <p>介護補助、保育補助、建具修理の仕事体験会を実施しましたが、それぞれの業種に興味を持たれている方が多かったため就業者が昨年度より倍増しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事体験会 就業者数 4人

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>介護サービス介護給付の適正化を推進します。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごすことが出来るよう、介護予防事業の充実を図り、地域で安心して生活できる体制づくりを進めます。</p>	<p>実地指導・集団指導を通し、介護保険施設等が適正なサービスを行うことができるよう支援し、「介護給付対象サービスの取扱い」及び「介護報酬の請求」に関する周知の徹底を図り、サービスの質の確保や保険給付の適正化が果たされるよう事業者指導の推進を図ります。</p> <p>地域密着型サービス事業所 3事業所</p> <p>居宅介護支援事業所 5事業所</p> <p>地域包括支援センターの生活支援コーディネーターと連携し、健康情報を伝え、介護予防に繋げるだけでなく、地域の仲間づくり・見守り・支えあいにも繋がる、歩いて行ける「はつらつ教室」を増やし、地域づくりを推進します。</p>	<p>6事業所の居宅介護支援事業所へ実地指導を行いました。</p>	<p>6事業所の居宅介護支援事業所、3事業所の地域密着型サービス事業所へ実地指導を行いました。</p>	<p>地域密着型サービス事業所 3 事業所（うち運営基準に関する口頭指導 3 事業所）</p> <p>居宅介護支援事業所 6 事業所（うち運営基準に関する口頭指導 4 事業所、介護給付費の算定及び取扱いに関する文書指導 1 事業所）</p> <p>高齢者が対象の事業のため、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地元への積極的な働きかけができず、目標の新規開設数・人数には達しませんでした。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2		<p>はつらつ教室（新規） 5カ所 参加目標実人数 50人 はつらつ教室OB会（累計） 110カ所</p> <p>はつらつ教室で健康についての話や体操の指導が出来る介護予防リーダーを育成し、地域での活動支援を行います。</p> <p>介護予防リーダー育成 15人 介護予防リーダー登録者（累計） 75人</p>	<p>はつらつ教室（新規） 2カ所 参加人数 19人 はつらつ教室OB会（累計） 107カ所</p> <p>介護予防リーダー養成講座を実施しました。（8回シリーズ）</p> <p>介護予防リーダー育成 10人 介護予防リーダー登録者（累計）71人</p>	<p>はつらつ教室（新規） 3カ所 参加人数 22人 はつらつ教室OB会（累計） 107カ所</p> <p>介護予防リーダー育成のため、フォローアップの研修を9月と1月に2回行いました。</p> <p>介護予防リーダー育成 10人 介護予防リーダー登録者（累計）71人</p>	<p>はつらつ教室（新規） 4カ所 参加人数 34人 はつらつ教室OB会（累計） 108カ所</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大のため、地域で積極的に活動できるリーダーの目標育成人数には達しませんでした。</p> <p>介護予防リーダー育成 10人 介護予防リーダー登録者（累計）71人</p>
3	<p>保健、福祉、医療連携の深化・推進</p> <p>できる限り住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けながら、必要な医療や福祉サービスを受けられるような、地域ネットワークの充実強化を推進します。</p>	<p>市内の医療・福祉・介護関係機関が連携を深められるよう、多数の関係機関が参加できる研修の開催方法を見直し、専門職研修会等を実施します。</p> <p>・1研修会当たり市内関係機関参加率 医療機関 21% 介護機関 43% 障がい福祉機関 34%</p> <p>障がいのある人への支援の質の向上を図るため、障がい福祉機関・介護機関の職員等を対象とした研修会や意見交換会を開催します。</p>	<p>10月に高齢者入所施設合同研修会を開催（オンライン）予定です。</p> <p>せとうちカフェ（オンライン）1回 27人</p> <p>福祉サービス事業所向け勉強会（集合） 1回 16人</p>	<p>10月及び1月に高齢者入所施設合同研修会を実施しました。</p> <p>せとうちカフェ（オンライン）2回 47人</p> <p>福祉サービス事業所向け勉強会・研修会（集合）1回 16人（オンライン） 1回 28人</p>	<p>2月に在宅医療多職種連携研修会をオンラインにて開催しました。</p> <p>参加者 25人</p> <p>・市内関係機関参加率 医療機関 15% 介護機関 16% 障がい福祉機関 4%</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>関係部署・関係機関との協働により作成した地域包括ケア実行計画に基づき、年次目標が達成できるよう多職種との連携調整を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1 研修会当たり市内関係機関参加率 障がい福祉機関 40% 在宅医療・福祉に係る支援を必要とする人に、適切な対応ができるよう関係機関との連携を強化し、相談支援体制の充実に努めます。 ・認知症初期集中支援に係る新規訪問支援対象者数 5件以上 ・認知症に関する相談実人数 20件以上 ・在宅医療・福祉に係る相談支援件数 延べ350件以上 (再掲) 関係機関への連携件数 延べ160件以上 <p>ケアネットせとうちホームページ専門職専用サイトの利用登録対象や掲載する事業所情報を医療・介護以外の分野にも拡大し、介護・医療・福祉専門職のより一層の連携強化を図ります。</p>	<p>基幹相談支援意見交換会・事例検討会 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規訪問支援対象者数 2件 ・認知症に関する相談実人数 29件 ・在宅医療・福祉に係る相談支援件数 延 364件 (再掲) 関係機関への連携件数 延 102件 <p>11月以降に各事業所等へ周知し、一層の連携強化を図る予定です。</p>	<p>基幹相談支援意見交換会・事例検討会 9回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規訪問支援対象者数 4件 ・認知症に関する相談実人数 38件 ・在宅医療・福祉に係る相談支援件数 延 620件 (再掲) 関係機関への連携件数 延 148件 <p>2月に各事業所等へ周知し、一層の連携強化を図る予定です。</p>	<p>基幹相談支援意見交換会・事例検討会 11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規訪問支援対象者数 5件 ・認知症に関する相談実人数 45件 ・在宅医療・福祉に係る相談支援件数 延 837件 (再掲) 関係機関への連携件数 延 175件 <p>今年度は困難ケース対応の増加により、目標を大幅に上回りました。</p> <p>3月に各事業所等へ周知し、一層の連携強化を図りました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>地域包括ケアシステムを踏まえた在宅医療・介護推進、基幹相談支援機能について、市民・地域住民への普及啓発を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専用サイト利用登録件数 10件 ・事業所情報掲載件数 25件 <p>市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会で、地域包括ケア実行計画等の進捗、取組状況の報告、情報交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会会議開催 4回 (委員数 18人) <p>市民・地域住民への普及啓発のため、広報媒体を活用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報せとうち 記事掲載 2回 ・ケアネットせとうち通信 発行 3回 	<p>在宅医療・福祉・保健連携推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催 2回 出席委員数 32人 <ul style="list-style-type: none"> ・広報せとうち 記事掲載 2回 ・ケアネットせとうち通信発行 1回 	<p>在宅医療・福祉・保健連携推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催 3回 出席委員数 50人 ・専門委員会開催 2回 出席委員数 13人 <ul style="list-style-type: none"> ・広報せとうち 記事掲載 4回 ・ケアネットせとうち通信発行 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・専用サイト利用登録件数 13件 ・事業所情報掲載件数 23件 <p>在宅医療・福祉・保健連携推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催 4回 出席委員数 66人 ・専門委員会開催 2回 出席委員数 13人 <p>市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会では、地域包括ケア実行計画の取組状況の報告、在宅療養に係る場面についての協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報せとうち 記事掲載 4回 ・ケアネットせとうち通信発行 3回 <p>2月に市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催しました。</p> <p style="text-align: right;">参加者 132人</p>

令和4年度 こども・健康部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p>こども・健康部長 難波 彰生</p>	<p>●使命 こども・健康部は、安心して子どもが産めるまち、生まれた子どもたちを健やかに育てられるまちを目指して、子どもと子育てを応援する環境づくりを推進します。 また、乳幼児から高齢者まで、全ての市民が心豊かではつらつとした人生を送れるよう、心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 行政機関や地域とのネットワークを充実させ、結婚、妊娠期から出産、子育て期にわたり、切れ目のない支援を提供します。</p> <p>② 市全体、地域全体での外遊びを通じて、人と人、人と地域がつながる場、みんなで子どもを育て自らも育つ環境づくりを推進します。</p> <p>③ 子どもを安心して預けられる保育園・こども園の整備・管理・運営や、放課後児童対策を充実することで、働きながらでも安心して子育てできる環境づくりを推進します。</p> <p>④ 市民が自分らしく豊かな人生を送ることができるよう、地域ぐるみで心と体の健康づくりを推進します。</p> <p>⑤ 岡山県や備前保健所、関係機関等と連携して感染症に係る情報を収集するとともに、市民への感染予防策の普及啓発により、感染症対策を推進します。</p>	<p>所管課 こども政策課・子育て支援課（公立保育園こども園）・健康づくり推進課</p>			
		人 員	正職員	会計年度職員	合計
			111人	117人	228人
		一般会計	3,059,269 千円		
		特別会計	— 千円		
		計	3,059,269 千円		
		(うち人件費)	(984,849 千円)		



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	<p>結婚から子育て期にわたる切れ目ない支援の提供</p> <p>次世代が安心して子育てできる環境づくりを目指して、結婚支援を推進します。</p> <p>子育て中の孤立化や児童虐待を予防するため、関係機関との状況共有会議を実施し、家庭の事情に合った支援を行います。</p> <p>ひとり親家庭の自立を支援するため、多面的な支援に努めます。</p>	<p>住宅取得費用などの結婚に伴う費用の一部を補助する結婚新生活支援事業により経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援します。また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援します。</p> <p>警察、児童相談所、教委等と情報を共有しながら、見守りを行います。また、その中で個別の会議を適時開催し、改善方を協議し、状況の改善に努めます。</p> <p>経済的自立と安定を図るため、ひとり親家庭の相談体制の充実を図り、各種支援事業の実施を行っていきます。ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数</p>	<p>補助金交付件数 6件 相談会実施回数 4回 相談者数 20人</p> <p>代表者会議 年1回 実務者会議 年12回 個別ケース検討会議 年60回</p> <p>ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 3件</p>	<p>結婚新生活支援事業については、相談は受けていますが、申請には至っていません。また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援しています。</p> <p>代表者会議を1回（6月）、実務者会議を6回（毎月）、個別ケース検討会議を5回（随時）実施しています。今後も関係機関との情報共有を継続していきます。</p> <p>ひとり親家庭の自立を支援するため、各種支援事業を実施しています。ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 0件</p>	<p>結婚新生活支援事業については、2件の申請があり、随時相談を受けています。また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援しています。</p> <p>代表者会議を1回（6月）、実務者会議を10回（毎月）、個別ケース検討会議を13回（随時）実施しています。今後も関係機関との情報共有を継続していきます。</p> <p>ひとり親家庭の自立を支援するため、各種支援事業を実施しています。ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 2件</p>	<p>結婚新生活支援事業補助金を6件交付し、経済的な理由で結婚に踏み切れない若者を支援しました。また、縁結びサポーターによる相談会を実施し、結婚を希望している方やその親を支援しました。</p> <p>補助金交付件数 6件 相談会実施回数 4回 相談者数 8人</p> <p>代表者会議を1回（6月）、実務者会議を12回（毎月）、個別ケース検討会議を24回（随時）実施しました。</p> <p>ひとり親家庭の自立を支援するため、各種支援事業を実施しました。ひとり親相談から自立支援サービス等につながった件数 3件</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	地域全体での子育て環境づくりの推進	外遊びを通じて、子どもの健全な発育を促し、子育て不安の解消に努めます。また地域で外遊びを実施することにより、地域住民全体が子育てに関心を持つことで、安心して子育てができる環境づくりを推進します。	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づいた、こどもひろばの開催を社協へ委託し、地域主体のこどもひろば開催を支援します。</p> <p>また、全天候型の遊び場「こどもパーク」の整備を検討するワークショップを開催し、次年度に整備計画を策定するための基本的な内容をまとめます。</p> <p>開催回数 年間140回 うち地域主体 54回 参加市民の数 年間6,500人 うちボランティア 200人</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しています。</p> <p>また、こどもパーク整備基本構想策定を委託する業者が決定し、ワークショップ開催に向けて、準備を進めています。</p> <p>開催回数 73回 うち地域主体 18回 参加市民の数 1,917人 うちボランティア 145人</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しています。</p> <p>また、こどもパーク整備基本構想策定に向けてのワークショップを2回開催しました。</p> <p>開催回数 155回 うち地域主体 56回 参加市民の数 4,576人 うちボランティア 342人</p>	<p>みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画に基づき、こどもひろばを開催しました。</p> <p>また、市民ワークショップを計6回開催し、こどもパーク整備基本構想を策定しました。</p> <p>開催回数 年間175回 うち地域主体 66回 参加市民の数 年間5,419人 うちボランティア 435人</p>
3	子育て環境の充実	仕事と子育てが両立できる環境を目指して、保育園・こども園・放課後児童クラブの施設整備を推進します。	<p>呂久小学校区に誘致した民間認定こども園は、令和5年4月の開園に向けて、令和4年度工事を進める事業者に対して、補助金を交付します。今城こども園の改修工事は、令和4年度中の完了に向けて工事を進めます。</p> <p>また、利用ニーズの高い呂久小学校区に、放課後児童クラブを整備する民間の2事業者に対して、補助金を交付します。</p> <p>その他、長船西保育園のトイレの洋式化をはじめ、各保育施設や放課後児童クラブの修繕等を実施し、子どもたちが快適に過ごすことができる環境を整備します。</p>	<p>民間認定こども園、今城こども園ともに令和5年4月開園に向けて、順調に工事を進めています。</p> <p>民間の放課後児童クラブ2箇所のうち1箇所は工事に入り、もう1箇所も設置に向けて準備を進めています。</p> <p>長船西保育園のトイレの洋式化も工事に向けて準備を進めています。</p>	<p>民間認定こども園、今城こども園ともにほぼ完了し、4月の開園に向けて、準備を進めています。</p> <p>民間の放課後児童クラブ2箇所のうち1箇所はほぼ完了し、もう1箇所も4月の開所に向けて準備を進めています。</p> <p>0～2歳児の保育ニーズに対応するために設置することとした、民間の小規模保育事業所も4月の開園に向けて準備を進めています。</p> <p>長船西保育園のトイレの洋式化は工事に着手していますが、準備に不測の時間を要したため、工事期間を6月までとしています。</p>	<p>民間認定こども園については、整備完了ののち補助金を交付し、4月に開園します。今城こども園は整備が完了し、供用を開始しています。</p> <p>民間の小規模保育事業所も、整備完了ののち補助金を交付し、4月に開園します。</p> <p>民間の放課後児童クラブのうち1箇所は、完了ののち補助金を交付し、4月に開所します。もう1箇所は、事業者の都合により、来年度の整備に向けて準備を進めます。</p> <p>長船西保育園のトイレの洋式化は、工期延長後順調に進捗し、6月末に完了する予定です。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>放課後児童対策を充実させ、心豊かに成長していくことができる環境づくりを行います。</p> <p>子どもを安心して預けられる保育園・こども園を管理・運営します。</p> <p>仕事と子育てが両立できる環境を充実させるため、保育園・こども園の保育環境の整備を行います。</p>	<p>放課後児童クラブの支援員等の資質向上、子供のよりよい育成支援のため、研修会やクラブに出向いての相談対応を行います。</p> <p>年間 3回以上</p> <p>教育・保育給付認定のほか、3・4・5歳児の幼児教育の無償化に係る施設等利用給付認定を安定的に行っています。</p> <p>年度末待機児童 10人以下</p> <p>公立保育園4園、こども園2園にインターネット回線を敷設し、保育システムを導入し、保育士の事務負担の軽減を図ります。</p>	<p>放課後児童クラブを利用している要支援児童等について、クラブに出向き状況を確認し、よりよい育成支援に繋がるよう対応方法について支援員等に助言を行いました。</p> <p>相談対応 3回</p> <p>引き続き、教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を安定的に行っています。</p> <p>待機児童 10人</p> <p>インターネット環境整備は、入札公示中です。</p> <p>保育業務支援システムは、プロポーザルを実施中です。</p>	<p>放課後児童クラブを利用している要支援児童等について、クラブに出向き状況を確認し、よりよい育成支援に繋がるよう対応方法について支援員等に助言を行いました。</p> <p>相談対応 3回</p> <p>引き続き、教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を安定的に行っています。</p> <p>待機児童 16人</p> <p>公立保育園3園（邑久・福田・長船西）にインターネット無線環境が整備できました。その他の園については、現在設置準備中です。</p> <p>保育業務支援システムは、導入システムが決定し、設定内容を協議中です。</p>	<p>放課後児童クラブを利用している要支援児童等について、クラブに出向き状況を確認し、よりよい育成支援に繋がるよう対応方法について支援員等に助言を行いました。</p> <p>相談対応 4回</p> <p>教育・保育給付認定や施設等利用給付認定を安定的に行いました。</p> <p>待機児童 16人</p> <p>公立保育園4園、こども園2園において、インターネット無線環境及び保育業務支援システムが整備でき、保育士の事務負担の軽減につながりました。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	心と体の健康づくりの推進	安心して出産・育児できるよう関係機関等の多職種と連携して、切れ目のない相談支援体制を充実強化し、子どもたちの健やかな成長と子育てを支援します。	<p>妊娠期から子育て期において成長発達に応じた適切な相談支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届時に保健師・助産師と妊婦の面談率 95%以上 ・乳児家庭全戸訪問実施率 90%以上 ・母子手帳アプリからの子育て情報発信回数 年12回以上 ・親子教室開催 年24回開催 	<p>妊娠届出時の面談率 94.8%</p> <p>乳児家庭全戸訪問 (4～7月生まれ) 98.4%</p> <p>アプリからの情報発信 8回</p> <p>親子教室 12回開催</p>	<p>妊娠届出時の面談率 96.0%</p> <p>乳児家庭全戸訪問 (4～11月生まれ) 94.5%</p> <p>アプリからの情報発信 18回</p> <p>親子教室 20回開催</p>	<p>妊娠届出時の面接率 96.0%</p> <p>乳児家庭全戸訪問 (4～2月生まれ) 92.7%</p> <p>アプリからの情報発信 24回</p> <p>親子教室 24回開催</p>
	4	働き盛りの世代が受診しやすい体制整備に取り組み、各種がん検診を実施し、働き盛りの市民の健康づくりを推進します。	<p>受診機会や検診の必要性を広報周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、市ホームページ、愛育回覧など広報活動年5回以上 個別検診や休日検診など受診しやすい体制を提供します。 ・がん総合検診、休日・夜間に集団がん検診の実施 年4回実施 ・大腸がん検診受診者数 2,900人以上 ・乳がん、子宮頸がん検診無料クーポン利用率 各25%以上 	<p>広報・愛育委員回覧版での広報活動4回</p> <p>がん総合検診1回実施</p> <p>夜間子宮頸・乳がん検診 2回実施</p> <p>休日子宮頸・乳がん検診 10月1回実施</p> <p>予定</p> <p>大腸がん検診受診者 2,213人</p> <p>乳がん無料クーポン利用者 20人 10.3%</p> <p>子宮頸がん無料クーポン利用者 3人 1.6%</p>	<p>広報・愛育委員回覧版での広報活動5回</p> <p>10月休日検診実施</p> <p>年間集団検診の実施 計5回実施</p> <p>大腸がん検診受診者 2,408人</p> <p>乳がん無料クーポン利用者 41人 21.1%</p> <p>子宮頸がん無料クーポン利用者 12人 6.5%</p>	<p>広報・愛育委員回覧版での広報活動7回</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>不安や悩みを抱える人が、かけがえのない命を大切にして、早期に相談につながり、自分らしく安心して生活できるよう、こころの健康づくりを推進します。</p> <p>健康増進や食育の重要性について普及啓発活動に取り組み、市民の健康づくり活動や意識啓発を進めます。</p>	<p>不安や悩みを抱える人への対応や支援や、正しい情報発信に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談開催 年12回 ・こころの相談開催の広報活動や情報発信 年20回以上 ・保健師相談（面接） 延200人以上 <p>健全な食生活に関する情報を提供し、食育活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年6回以上の情報発信 ・栄養指導の実施人数 延2,000人以上 <p>愛育委員協議会、栄養改善協議会の組織と協働して健康教育事業に取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 年200回以上 	<p>こころの健康相談 6回実施</p> <p>こころの健康相談、自殺予防研修会などの広報掲載 7回</p> <p>保健師相談（面接） 延95人</p> <p>・母子手帳アプリでの時短料理と食材に含まれる栄養素に関する情報発信 6回</p> <p>栄養指導 乳幼児・学童期565人 成人期 472人 計 1037人</p> <p>・健康に関する広報活動75回、乳幼児健診で健康教育24回、地域で健康教育1回、中学校で健康教育2回</p>	<p>こころの健康相談 10回実施</p> <p>こころの健康相談、自殺予防研修会などの広報掲載 18回</p> <p>保健師相談（面接） 延142人</p> <p>・母子手帳アプリでの時短料理と食材に含まれる栄養素に関する情報発信 10回</p> <p>栄養指導 乳幼児・学童期942人 成人期 1102人 計 2044人</p> <p>・健康に関する広報活動131回、乳幼児健診で健康教育74回、地域で健康教育1回、中学校で健康教育3回</p>	<p>こころの健康相談 12回実施</p> <p>こころの健康相談、自殺予防研修会などの広報掲載 22回</p> <p>保健師相談（面接） 延172人</p> <p>・母子手帳アプリでの時短料理と食材に含まれる栄養素に関する情報発信 12回</p> <p>栄養指導 乳幼児・学童期1162人 成人期 1182人 計 2344人</p> <p>・健康に関する広報活動159回、乳幼児健診で健康教育103回、地域で健康教育1回、中学校で健康教育3回</p> <p>健康教育の実施 計 266回</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>感染症予防策の普及啓発による感染症対策の推進</p> <p>乳幼児の定期予防接種に加え、追加的対策の風疹予防接種、子宮頸がん予防接種など各種予防接種の実施に速やか取り組み、感染症対策をより一層推進します。</p>	<p>感染症の正しい知識を持ち、予防対策に継続して取り組めるよう、正しい知識や新しい情報を随時、提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ作成、市ホームページ、広報への掲載 年10回以上 ・市ホームページ、Line、への掲載等での情報発信 年12回以上 <p>各種予防接種を積極的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん予防接種者数 延150人以上 ・風しん追加的対策での風しん予防接種者数 100人以上 	<p>新型コロナ感染症に関する広報周知、情報発信状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙掲載 1回 ・市HP掲載 8回 ・LINE掲載 1回 <p>・子宮頸がん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R4. 8. 31 接種件数 計166件 [内訳] 定期接種 91件 キャッチアップ接種 75件 接種者数 計139人 [内訳] 定期接種 71人 キャッチアップ接種 68人</p> <p>・風しん追加的対策での風しん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R4. 8. 31 抗体検査数 87件</p>	<p>新型コロナ感染症に関する広報周知、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙折込 3回 広報紙記事掲載2回 市HP掲載 8回 LINE掲載 1回 市HPに掲載の発熱外来を毎週に更新 <p>・子宮頸がん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R4. 12. 31 接種件数 計361件 [内訳] 定期接種 168件 キャッチアップ接種 193件 接種者数 計206人 [内訳] 定期接種 91人 キャッチアップ接種 115人</p> <p>・風しん追加的対策での風しん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R4. 12. 31 抗体検査数 109件</p>	<p>新型コロナ感染症に関する広報周知、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙折込 3回 広報紙記事掲載2回 市HP掲載 9回 LINE掲載 1回 市HPに掲載の発熱外来を毎週に更新 <p>・子宮頸がん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R5. 2. 28 接種件数 計 426 件 [内訳] 定期接種 192 件 キャッチアップ接種 234 件 接種者数 計 315 人 [内訳] 定期接種 160 人 キャッチアップ接種 155 人</p> <p>・風しん追加的対策での風しん予防接種者数 実施期間 R4. 4. 1～R5. 2. 28 抗体検査数 123 件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>新型コロナワクチン接種に引き続き取り組み、感染症対策をより一層推進します。</p>	<p>希望する市民が接種を受けられるよう、接種体制を確保してワクチン接種を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が定める接種期間の令和4年9月末を目途に、1～2回目未接種者や3回目追加接種を希望する者へのワクチン接種を推進します。 ・国の方針に沿って、4回目のワクチン接種を実施します。 	<p>予防接種数 28件 新型コロナ感染症に関する広報周知、情報発信 広報紙折込 2回 市HP掲載 30回 市LINEでの発信回数 6回</p> <p>新型コロナワクチン接種者数、(%) 9月26日現在 1回目 9,322人 (79.9) 2回目 9,202人 (79.6) 3回目 24,088人 (65.6) 4回目 12,787人 (34.8)</p>	<p>予防接種数 36件 ワクチン接種に関する広報周知、情報発信 広報紙折込 2回 市HP掲載 58回 市LINEでの発信回数 7回 市HPに接種状況を掲載し、毎週末に更新</p> <p>新型コロナワクチン接種者数 (%) R5.1月30日現在 1回目 29,882人 (81.5) 2回目 29,744人 (81.1) 3回目 24,821人 (67.7) 4回目 16,897人 (46.1) 5回目 9,438人 (25.7)</p>	<p>予防接種数 38件 ワクチン接種に関する広報周知、情報発信 広報紙折込 2回 市HP掲載 63回 市LINEでの発信回数 8回 市HPに接種状況を掲載し、毎週末に更新</p> <p>新型コロナワクチン接種者数 (%) R5.3月31日現在 1回目 29,898人 (81.5) 2回目 29,765人 (81.2) 3回目 24,961人 (68.1) 4回目 17,160人 (46.8) 5回目 10,127人 (27.6)</p>

令和4年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
<p>産業建設部長 難波 利光</p>	<p>●使命 私たち産業建設部は、安全・安心に生活できる住環境の整備を積極的に進め、更に、公共施設等インフラの充実・長寿命化を図ることで、災害に強いまちづくりを目指します。そして、農業や漁業に魅力を感じ、事業を持続的に取り組むことができる基盤作りを進め、地域が元気に活力を得ながら発展できるよう、企業誘致や中小企業振興等にも力を入れ、地域産業の活性化を進めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①国土強靱化地域計画を基に、建設課で行う事業に加え、他部署の事業も分任として積極的に受け入れ、住環境の整備を促進します。</p> <p>②JR3駅の駅前等整備事業等、市民生活に直接影響する事業を積極的に進め、併せて、長寿命化計画に基づくインフラ施設の維持管理を計画的に行います。</p> <p>③農業資源の質的向上を図るため、農道、用水路、ため池等農業用施設の適正な維持と保全に努めます。</p> <p>④市有建築物の品質確保を図り、質の高い建築物の整備に努めます。</p> <p>⑤市営住宅長寿命化計画に基づき、再整備や修繕を計画的に進めます。</p> <p>⑥耕作放棄地対策や担い手確保等の事業に取り組み、農林水産業の活性化を後押しします。</p> <p>⑦シカ、イノシシ等の有害鳥獣による農作物への被害を抑制するため、対策事業を積極的に推進します。</p> <p>⑧地域産業の担い手である市内の小規模事業者や中小企業者のための振興対策を積極的に推進します。</p> <p>⑨企業誘致を促進し、雇用・税収を確保するため、第2宮下産業団地の事業を積極的に進めます。</p>	<p>所管課</p> <p>建設課・建築住宅課・産業振興課</p>			
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			30人	10人	40人
		一般会計	2,767,361 千円		
		特別会計	825,869 千円		
		計	3,593,230 千円		
		(うち人件費)	(227,173 千円)		



重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	国土強靱化地域計画に基づくハード整備の実施	市道開田線の整備を推進します。	市道開田線の橋梁工事に着手し、事業の早期完成を目指し工事の進捗を図ります。	橋梁下部工事を一般競争入札にて2件発注し業者決定。予定どおりの進捗です。	工事進捗は概ね予定どおりです。	工事進捗は概ね予定どおりです。
2	長寿命化計画に基づく、生活道路等の整備	<p>市道橋梁の5年に1回の法定点検が2巡目となり、市職員及び専門業者による橋梁点検を実施し健全度の診断を行い、予防保全の観点から早期補修を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。</p> <p>市内に3駅あるJR駅前等整備計画の短期計画の早期実現に向けて、関係者との調整を図り、安全な工事を進めます。</p>	<p>市道の橋梁 579 橋のうち、令和 4 年度は 127 橋の法定点検を実施します。</p> <p>生活道路改良工事では舗装修繕を含め、30 路線を実施します。</p> <p>生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率 70%以上を目指します。</p> <p>駅利用者等の安全に配慮した施工計画にて、大富駅、長船駅は令和4年度完成、邑久駅は令和6年度完成を目指し工事の進捗を図ります。</p>	<p>127橋の橋梁点検を発注済みです。</p> <p>17路線の工事を発注済し、7路線が工事完成しました。</p> <p>要望件数388件に対して206件対応し、実施率53%です。</p> <p>大富駅2件工事発注済み。邑久駅1件工事発注済み。長船駅3件工事発注済み。概ね予定どおりの進捗です。</p>	<p>127橋の現地点検は完了。報告書とりまとめ中であるが、緊急対応の必要がある橋梁は無し。</p> <p>28路線の工事を発注済し、13路線が工事完成しました。</p> <p>要望件数572件に対して405件対応し、実施率71%です。</p> <p>大富駅は年度内完成の見込み。長船駅は関係機関との調整に期間を要したため、令和5年度に完成が伸びる予定。邑久駅は商工会との契約を締結、工事は予定どおりの進捗です。</p>	<p>127橋の現地調査、報告書が完了しました。</p> <p>32路線の工事を発注済し、27路線が工事完成、5路線が繰越工事中です。</p> <p>要望件数701件に対して525件対応し、実施率75%です。</p> <p>大富駅は工事完成。長船駅は繰越工事となり、6月末完成予定。邑久駅の工事は概ね予定どおりです。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>農業用施設の適切な維持管理</p> <p>農地の維持や農地・水路・農道等の維持補修や改修整備など促進し、安心安全な地域づくりを進めます。</p> <p>農業用ため池の防災・減災対策として、5年に1回ため池点検を実施し健全性の診断を行い、予防保全の観点から早期補修・廃止を行うなど、適正な管理を進めます。</p> <p>防災重点農業用ため池のハード対策は県が主体的となり実施し、市は地元調整に協力します。ソフト対策は市が主体的に進めます。</p>	<p>農業用施設維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と要望に対する実施率70%以上を目指します。</p> <p>農業用ため池623池のうち、令和4年度は50池のため池点検を実施します。</p> <p>ソフト施策として、ため池ハザードマップの整備を20池実施します。</p>	<p>要望件数131件に対して69件対応し、実施率53%です。</p> <p>19池のため池点検を発注済み。31池は直営点検を予定しています。</p> <p>20池のハザードマップ整備の委託を発注済みです。</p>	<p>要望件数246件に対して160件対応し、実施率65%です。</p> <p>19池のため池点検を実施中。31池は直営点検を実施済み。</p> <p>39池に対し20のハザードマップ整備を関係者と調整し作成中です。</p>	<p>要望件数322件に対して222件対応し、実施率69%です。</p> <p>50池のため池点検が完了しました。</p> <p>39池に対し20地区のハザードマップ整備が完成しました。</p>
4	<p>質の高い公共施設の供給</p> <p>市の重要な建築案件について、担当課から分任を受けることにより、設計・委託・工事発注から現場監理・設計変更・完成まで一括して行い、建築物の品質管理を図ります。</p>	<p>適切な管理のもと、質の高い建築物を整備します。工程管理を徹底し、年度内に完了させます。</p> <p>令和4年度工事予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁西棟改修工事 ・長船支所新築工事 ・今城こども園改修工事 	<p>分任を受けた3件の工事について、工程どおり順調に進んでいます。12月の議会に変更契約締結議案を出せるように、これから業者と協議を進めていきます。</p>	<p>長船支所新築工事については1月末に引き渡しを受けました。残り2件については2月末と3月初旬に完了する予定です。</p>	<p>3件とも事故もなく、品質の高い建築物が完成しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	その他建築物の改修、修繕工事等について、担当課に対し技術的な支援を行います。	担当課と連携し、質の高い建築物を整備します。 令和4年度工事予定 ・道の駅グリーンパーク公衆トイレ改築工事 ・邑久スポーツ公園冒険の森トイレ新築工事 ・邑久スポーツ公園野球場トイレ撤去、新築工事 ほか	概ね、どの工事も順調に進んでいます。工期内に完成させるように、今後も担当課と連携していきます。	どの工事も2月末から3月初旬には完成します。繰越予定工事については、担当課と連携し、早期完成を目指します。	繰越予定以外の工事については、完成しました。
5	市営住宅の再整備	市営住宅長寿命計画を基に、計画的な修繕や建替事業を推進します。 邑久地区の市営住宅建替に関する基本計画を策定します。	設計については9月末で完了しました。年度内完成に向けて、早急に工事を発注します。9月末に受注業者が決定しました。	水洗化工事については、2月から工事に着手し、年度内に完成させます。基本計画については概ね方針が固まっています。3月末には完成させます。	屋外工事については、完成しました。基本計画については、方針が固まり、完成しました
6	農林水産業の活性化	耕作放棄地の復旧及び耕作放棄地防止対策を推進します。 日本型農業直接支払い交付金事業を活用し、農地の維持管理を行います。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業について、1回目の募集を行い、応募のあった1.2haの復旧作業に着手しています。また、2回目の募集を10月から開始予定です。日本型農業直接支払い交付金事業については、新たに2団体が事業を活用するなど、取組面積が拡大しています。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業について、2回目までの募集で応募のあった2.6haの復旧作業を実施しています。また、3回目の募集を行い、採択に向けて審査を行っています。日本型農業直接支払い交付金事業については新団体も含め事業完了に向けて概ね順調に実施している。	瀬戸内市耕作放棄地解消等事業について、3回の募集を行い、3.3haの耕作放棄地を解消しました。 日本型農業直接支払い交付金事業については、3月末で全ての団体が事業を完了しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
6	<p>実質化された人・農地プランに基づき、担い手への農地集積を推進します。</p> <p>農林水産業の担い手確保対策を推進します。</p> <p>森林環境譲与税を財源として適切な森林経営管理を推進します。</p> <p>水産業の経営・構造改善等を推進します。</p>	<p>市内3地区（邑久、長船、牛窓）の人・農地プランに基づき、更なる担い手への農地集積・集約、農地の維持管理の取組等を推進します。</p> <p>国・県の補助制度に加え、市独自の取組として、定年帰農者等育成支援事業を創設し、農地を将来にわたって持続的に活用する多様な担い手確保を図ります。</p> <p>瀬戸内市森林経営管理制度に係る森林現況調査の結果を基に、牛窓地区において森林所有者へ森林の経営・管理に関する意向調査を実施します。市が管理する森林の整備を行うことにより、森林の持つ公益的機能の普及啓発を図ります。</p> <p>水産業振興推進事業や利子補給制度等の適正な執行により、漁業者の支援を行います。</p>	<p>農地集積等につながる各種事業の活用に向けた検討を含め、各地域の取組を推進しています。</p> <p>定年帰農者等育成支援事業について、募集を行い、採択に向けて審査を行っています。</p> <p>森林現況調査の結果から、瀬戸内市森林経営管理制度の取組方針を制定する予定です。瀬戸内市の現状に合わせて、森林環境譲与税の活用方法について再検討します。</p> <p>漁業振興特別対策事業、水産業振興事業等を活用して、漁業の振興を推進しています。</p>	<p>担い手への農地集積等につながるよう、各種事業の活用等を検討するなど、各地域の取組を支援しています。</p> <p>定年帰農者等育成支援事業について、2名を採択し、計画に基づき、事業実施しています。</p> <p>森林現況調査結果から意向調査は当面行わず、今後予定している森林整備等の事業実施に向けて森林環境譲与税を積み立てます。</p> <p>漁業振興特別対策事業を活用して、邑久町漁協で高圧洗浄機2基、牛窓町漁協で船台1基を設置しました。</p>	<p>担い手への農地集積等に向け、各種事業の活用を検討するなど、各地域の取組を支援しました。</p> <p>定年帰農者等育成支援事業について、2名が事業実施し、農地を将来に渡って持続的に活用する担い手を確保しました。</p> <p>今後の事業実施に向けて当該年度の森林環境譲与税基金に積み立てました。瀬戸内市内の森林の現況に合った計画の策定に向けて検討を行いました。</p> <p>水産業振興事業を活用して、邑久町漁協でパンフレットの作成、牛窓町漁協でタコ壺を海面に投入する実証試験を行いました。利子補給制度等について適正に執行し、漁業者を支援しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
7	有害鳥獣被害対策の推進	<p>有害鳥獣による農作物への被害を抑制するため、対策事業を積極的に推進します。</p> <p>総合的な被害対策（自己防衛・環境管理・捕獲）事業を推進します</p> <p>個別柵 200 件 集落柵 1 件 駆除捕獲頭数 700 頭</p> <p>集落ぐるみで行う被害防止対策を推進します</p> <p>鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 5 地区 広報紙掲載 2 回 啓発動画ホームページ掲載 3 本</p> <p>セミナー参加者 150 名 小規模集落セミナー 5 地区</p>	<p>■防護柵設置 ※交付決定件数 個別柵 86 件 集落柵 2 件</p> <p>■駆除捕獲頭数 イノシシ 920 頭 シカ 115 頭 合計 1,035 頭</p> <p>鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 広報紙掲載 1 回 啓発動画ホームページ掲載 3 本</p>	<p>■防護柵設置 ※交付決定件数 個別柵 119 件 集落柵 2 件</p> <p>■駆除捕獲数 ※猟期中の錦海駆除含む イノシシ 1,087 頭 シカ 197 頭 合計 1,284 頭</p> <p>鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 支援事業 1 地区 啓発動画ホームページ掲載 3 本 鳥獣セミナー 2/10開催予定</p>	<p>■防護柵設置 個別柵 120 件 集落柵 2 件</p> <p>■駆除捕獲数 ※錦海塩田駆除含む イノシシ 1,096 頭 シカ 211 頭 合計 1,307 頭</p> <p>鳥獣被害に強い集落づくり支援事業 支援事業 1 地区 広報紙掲載 4 回 啓発動画ホームページ掲載 3 本 鳥獣セミナー 会場参加 約 60 名 ※オンライン配信を実施しました。</p>
8	地域産業の振興対策の推進	<p>地域産業の担い手である市内小規模事業者、中小企業者の振興対策を推進し、併せて創業者の支援を推進します。また、市内で新たに事業所を開設する事業者や再投資を行う既存事業者を支援し、地域産業の振興と雇用の増大を図ります。</p>	<p>創業支援等事業計画に基づき創業支援を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業塾受講者数 20 件 ・創業奨励金交付者数 4 件 	<p>創業塾の開催に向けて準備を進めています。市内で創業を考えている 15 人から受講申込がありました。</p>	<p>11 月から 12 月にかけて創業塾を開催し、14 名が修了されました。創業奨励金は、9 名の方に交付しました。</p> <p>令和 4 年度において、創業奨励金を 11 名の方に交付しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
8		<p>利子補給制度等の適正な執行による中小企業の支援を行います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響を受ける小規模企業者等に対して、緊急経済支援策等の情報提供を行い事業継続を支援します。</p>	<p>中小企業活性化資金利子補給について、申請があった2事業者を適格者に認定しました。また、上半期の利子補給を25件実施しました。</p> <p>エネルギー価格の高騰による影響を受けている小規模企業者等を支援する市独自制度の創設を検討しています。</p>	<p>中小企業活性化資金利子補給について、新たに3事業者を適格者に認定しました。</p> <p>エネルギー価格高騰対策事業者支援金の制度を創設し、1月末までに約530事業者から申請がありました。審査が終わり次第、順次支援金を交付いたしております。</p>	<p>令和4年度において、中小企業活性化資金利子補給の適格者として6事業者を認定しました。また、下半期の利子補給を22件実施しました。小規模事業者経営改善資金の利子補給を26件実施しました。</p> <p>エネルギー価格高騰対策事業者支援金を517事業者に交付しました。</p>
9	第2宮下産業団地の推進	第2宮下産業団地の整備を着実に実施するため、企業や地元との調整を進め、各種手続を遅滞なく行います。	事業用地の売買契約締結後、速やかに造成工事に着手し、適切な進捗管理を行います。	事業用地の買収は6月末までに完了しました。造成工事には7月から着手しています。	造成工事は予定通り順調に進んでいます。誘致企業とも定期的に協議を行い、立地に向けた準備を進めています。

令和4年度 文化観光部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
文化観光部長 頓宮 忍	<p>●使命 私たち文化観光部は、市内に継承されてきた歴史的遺産や伝統文化を保護、保存、活用し、まちの個性を形づくる伝統文化や文化財を次世代に継承します。更に、優れた芸術文化に触れる機会や多様な文化活動の機会を提供することにより、人と文化の交流による豊かな文化の創造を進めます。また、豊かな自然や景観、歴史的遺産、伝統文化などの観光資源を活用し、情報発信事業をはじめとする観光関連事業を推進することにより、市の魅力を広く内外に発信し、交流人口の増加を図るとともに、地域の賑わいを創出します。</p> <p>●基本方針</p> ①文化財の調査等による保護、保存を推進し、併せて文化財等の効果的な活用を進めます。 ②市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の芸術文化を創造する活動を支援します。 ③大型観光キャンペーン等を機会として、観光客の誘致を促進し、市の知名度向上を図ります。 ④新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、観光需要の回復と喚起を図る施策を推進します。	所管課 文化観光課 (備前長船刀剣博物館、瀬戸内市立美術館)			
		人 員	正職員 16人	会計年度 任用職員 11人	合計 27人
		一般会計	595,092 (うち繰越明許 110,252)		千円
		特別会計	0		千円
		計	595,092 (うち繰越明許 110,252)		千円
		(うち人件費)	(138,470 (うち会計年度任用職員 23,863 (そのうち地域おこし協力隊 2,328)		千円 千円 千円)
				(138,470 (うち会計年度任用職員 23,863 (そのうち地域おこし協力隊 2,328)	

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 文化財の調査等による保護、保存及び文化財等の効果的な活用	<p>本市における文化財の保存活用に関する基本的な方針となる文化財保存活用地域計画策定(令和2年度～令和4年度)に向けた取組を進めます。</p> <p>地域と連携し、文化財の整備や情報発信を通じて、地域の歴史文化の保存・活用をめざします。</p> <p>歴史文化を活用して地域づくりを推進する団体を育成・支援します。</p>	<p>計画策定のための協議会を開催し、パブリックコメントを実施して、令和4年度内に地域計画を策定します。</p> <p>目標：地域計画の策定</p> <p>文化財の保存・活用が図られるよう、地域と連携して文化財の整備や情報発信を支援します。</p> <p>目標：支援した文化財 2件 (拠点整備1件、保存修理1件)</p> <p>公益財団法人寒風陶芸の里の機能強化を図り、文化財保存活用支援団体に指定し、育成・支援します。</p>	<p>8月にパブリックコメントを実施し、文化財保護審議会等の意見を反映した計画案を作成しました。また、計画の内容確認のため、計画案を文化庁に提出しました。</p> <p>補助金事業の公募を行ったところ、2件の申請があり、補助金の交付を決定しました。また、鹿忍神社本殿(市指定)の屋根修繕事業に対して保存修理補助金を交付しました。</p> <p>公益財団法人寒風陶芸の里が、財団の事業に歴史文化資源の保存・活用や地域活性化を推進する事業等に加え、公益財団法人瀬戸内市歴史まちづくり財団となりました。財団の事業支援として職員1名の出向や補助金の交付を決定しました。</p>	<p>計画案に対する文化庁の意見を反映し策定された地域計画は、12月16日に文化庁長官の認定を受けました。</p> <p>拠点整備補助金の交付決定を行った2件については、引き続き指導助言を行っています。また指定文化財修理の相談等について随時対応しています。</p> <p>歴史まちづくり財団への指導助言及び支援を行っています。また、歴史まちづくり財団主催の歴史講演会について、財団と連携し、2月25日の開催に向け準備を進めています。</p>	<p>策定(文化庁認定)した地域計画の冊子を作成し、関係団体に配付して周知しました。</p> <p>地域計画の策定完了</p> <p>拠点整備補助金事業2件が完了し、補助金を交付しました。また指定文化財修理の相談等について随時対応しています。</p> <p>支援した文化財 拠点整備 2件 保存修理 1件</p> <p>歴史まちづくり財団への指導助言及び支援を行いました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 優れた芸術文化に触れる機会の提供と芸術文化の創造活動への支援	音楽を軸とした多種多様な文化芸術分野のコンサート等を開催するとともに、市民に音楽や芸能等の文化活動の鑑賞や実践の機会を提供する市内団体等を支援することにより、市民等が優れた文化芸術に触れる機会を創出します。 ※新型コロナウイルス感染症の影響あり	市民等が優れた文化芸術（音楽等）に触れるコンサート等を開催します。また、音楽や芸能等の鑑賞や実践の機会を企画・計画している文化振興関係団体に対して支援します。 目標：市民が当該音楽文化芸術活動に参加した数 2,000人	第6回夢二コンクール出場者の募集を行い、全国から20名の申込みがありました。また、市民が優れた音楽等に触れる機会の創出に関する事業を実施する団体に対して補助金の交付を決定しました。	夢二コンクール予選を10月30日、本選を12月4日に開催し、予選20名、本選9名が出場しました。夢二コンクール本選には、約100名が来場しました。市内団体が補助金を活用し、3月末に第九コンサートの開催を予定しています。	市内19校園でスクールコンサートを開催しました。また、市内団体が補助金を活用し、市民が参加する第九コンサートが3月26日に開催されました。 市民が当該活動に参加した数 総計約1,800人
	備前長船刀剣博物館において、特別展やテーマ展を計画・実行し、刀剣文化の魅力を広げていきます。また、拠点計画や山鳥毛里づくりプロジェクトに基づいた取組を行います。 ※新型コロナウイルス感染症の影響あり	特別展2回、テーマ展4回を開催します。国宝「山鳥毛」の展示機会を活用し、地域や民間事業者と連携した取組を行います。新たな駐車場を整備します。 目標： 入館者数 37,000人／年 新駐車場の完成	特別展1回、テーマ展2回を開催し、9/30から現代の刀職を顕彰する特別展を開催しています。また、国宝「山鳥毛」公開に合わせて地域等と連携したイベントを開催しました。 9月末入館者数 18,337人／4-9月	特別展2回、テーマ展3回を開催しました。12月には外装を中心としたテーマ展にて山鳥毛拵を初公開しました。新駐車場整備に向けた用地交渉を進めています。 1月末入館者数 26,691人／4-1月	特別展2回、テーマ展4回を開催しました。新駐車場整備に向けた用地交渉がまとまり、整備に向けた調整を進めました。 入館者数 30,612人／年
	瀬戸内市立美術館の魅力向上や新たな来館者層を増やすため、魅力ある特別展や企画展を開催します。 ※新型コロナウイルス感染症の影響あり	特別展3回、企画展5回を開催します。特別展や企画展では郷土ゆかりの芸術家を取り上げるなど美術を身近に感じる取組も行います。 目標入館者数 美術館：21,000人／年	特別展2回、企画展2回を開催しました。市内在住の作家を顕彰する特別展(10/9-1/15)の開催準備を進めています。 9月末入館者数 17,936人／4-9月	特別展3回、企画展2回を開催しました。10月から1月には市内在住の日本画家・井手康人氏を顕彰する特別展に合わせ、地域イベントを実施しました。 1月末入館者数 21,236人／4-1月	特別展3回、企画展5回を開催しました。 入館者数 24,844人／年

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3 大型観光キャンペーン等を機会とした観光客の誘致と市の知名度の向上	大型観光キャンペーンや広域連携事業に参画することを通じて、効果的な情報発信に取り組むことで観光客の誘致と市の知名度向上を図ります。	目標入込客数 62,000人/月	岡山 DESTINATION キャンペーンと連携して7月20日から8月31日までアートイベント「mt×牛窓」を行いました。また、岡山市と連携して岡山市内と瀬戸内市内を周遊するモニターツアーを実施しました。 (9月末実績 66,282人/月)	10月から12月にかけて行われた「秋旅キャンペーン」及び岡山県観光連盟等が主催する誘客イベントに参画し、宿泊応援キャンペーンの周知など誘客事業を実施しました。 (12月末実績 88,756人/月)	来年度の岡山 DESTINATION キャンペーンアフター期間に向け、岡山県観光連盟及び備前県民局等が主催する誘客イベントへの参画、また観光商談会に参加し旅行会社に対するツアー造成の働きかけを実施しました。 入込客数 (R5.3月末実績) 82,553人/月
4 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めた観光需要の回復及び喚起	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、観光客の回遊性を増進する取組を進め、滞在時間の延伸を図り、観光需要の早期回復及び喚起を図ります。	目標宿泊者数 25,000人/年 回遊性向上のための事業の実施数 2件	市内の回遊性を向上し、滞在時間の延伸を図るため、7月22日から9月末まで牛窓地区の店舗を巡るスタンプラリーを実施しました。また、備前長船刀剣博物館の特別展に合わせて、長船地区と邑久地区を周遊する無料巡回バスを運行しました。 宿泊応援キャンペーンを中心とした観光促進業務を行う企画提案を募りました。 回遊性向上のための事業実施件数 2件	宿泊応援キャンペーンと連動し、宿泊施設への誘客を図るため、宿泊客と宿泊施設のマッチングを行うシステムの開発を行いました。 同左	宿泊応援キャンペーンと連動し、宿泊施設への誘客を図るため、宿泊客と宿泊施設のマッチングを行うシステムの運用が開始され、さらに宿泊者に向けて地域の観光情報を紹介する冊子を制作しました。 宿泊者数36,498人 同左

令和4年度 消防本部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
消防長 植松 謙二	<p>●使命 私たち消防本部は、瀬戸内市に暮らし、働き、また、訪れる全ての方に、安全・安心をお届けするため、地域とともに職員一丸となって消防業務を遂行します。</p> <p>●基本方針</p> <p>①消防団組織の充実・強化に努めます。 ②消防施設の充実を図ります。 ③大規模災害等に対する現場対応能力の向上を図ります。 ④安全・安心な救急サービスの提供に努めます。 ⑤広く火災予防を呼びかけるとともに、事業所の防火・防災管理体制の充実に努めます。 ⑥自主防災組織の支援・充実に努めます。 ⑦初動対応で最も重要である通信指令業務の充実・強化を図ります。</p>	所管課	総務課 警防課 予防課 通信指令室 消防署		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
		79人	0人	79人	
		一般会計	722,167 千円		
		特別会計	千円		
		計	722,167 千円		
		(うち人件費)	(544,225 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>消防団員の活動能力の向上及び入団促進</p> <p>近年、大規模化・多様化している災害に対応すべく、団員の教育・訓練を重点的に行います。</p> <p>減少傾向にある団員数を確保するため、管内の事業所に対して入団促進を図ります。</p>	<p>災害時で使用する資器材の取扱い訓練を随時実施します。また、9月には県との総合防災訓練を行います。</p> <p>団員定数450名に対して充足率93%を目標に入団促進を図ります。</p>	<p>7月に夏季訓練、9月には県との総合防災訓練を実施しました。</p> <p>6月末までに市内の53事業所に消防団入団促進パンフレットを配布、商業施設への掲示も行い、9月末で充足率91.5%になりました。</p>	<p>年間を通して各分団で訓練を実施し、9月の台風では迅速に市内の倒木撤去に対応しました。</p> <p>団員数は毎月増減があり、4月からは若干の増加傾向で、1月末で充足率91.1%になりました。</p>	<p>夏季訓練、総合防災訓練、林野火災訓練を実施、また各分団での訓練も年間通して実施出来ました。</p> <p>充足率90.4%で目標の93%は達成出来ませんが、9名の新入団員が入りました。今後も入団促進を図っていきます。</p>

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1		消防精神の高揚と迅速的確な消防技術の向上のため、操法大会を通して、活動能力の向上を図ります。	瀬戸内市大会・岡山県大会で消防技術の向上を図り、入賞を目指します。	瀬戸内市大会には3チームが参加、県大会に長浜分団が出場し6位入賞を果たしました。	11月からは令和5年度の操法大会に向け出場チームは練習を開始、更なる飛躍を目指します。	操法大会を通して、消防精神の高揚と迅速的確な消防技術の向上が図れました。
2	消防施設等の整備	消防力を維持するため、機能低下した邑久西分団第3部の消防車両の更新を図ります。 多様な災害に対応するため、災害対応特殊消防ポンプ自動車の更新を図ります。	令和4年度末までに整備します。 令和4年度末までに整備します。	入札により業者が決定、8月には中間検査を行いました。11月納車予定です。 入札により業者が決定、2月に中間検査を行う予定です。	11月16日に納車、11月20日に邑久西分団第3部に使用説明会を行い運用開始しました。 中間検査は12月20日に実施、納車は2月16日予定です。	11月に納車した車両を2月の林野火災訓練で使用、活動能力の向上また団員の士気も向上しました。 2月16日納車、2月27日から運用開始、多種多様な災害対応を行います。
3	災害等に対応する個人の現場対応能力の向上	個人の現場対応能力を向上させると共に、他機関との連携を強化するため、合わせて合同訓練を実施します。	他の機関との合同訓練 海上保安庁 1回以上 (新規) ドクターヘリ 1回以上 岡山県防災ヘリ 2回以上 岡山県警 2回以上 当市以外の消防機関 2回以上 (新規)	海上保安庁と合同訓練を実施し、活動内容等について相互理解を深めました。 総合防災訓練において、ドクターヘリ、岡山県警との他機関連携が強化されました。	2月には、岡山県防災ヘリと救急・救助連携訓練を予定しており、現在は、より実践的な連携訓練になるよう計画中です。	今年度もコロナ禍でありましたが、他機関との連携訓練は、予定通り全て達成でき、評価、改善についても職員で共有し、現場対応能力の向上が図れました。
4	安全・安心な救急サービスの提供	救急業務中での緊急走行時、傷病者をより安全により早く医療機関へ搬送できるように努めます。	職員1名を緊急自動車運転技能者研修に派遣し、他の職員へも知識、技能を習得させ、安全な救急サービスを提供します。	12月に職員を派遣予定としています。日頃から教養、訓練を重ね、安全な救急サービスが提供できるように心掛けています。	緊急自動車運転技能研修修了者による実技指導を実施しています。今後も、引き続き指導回数を増やし安全走行ができるように心掛けます。	緊急走行時の危険予知訓練、難易度の高いクランクコース、S字コース等の実技訓練を実施し、安全な救急サービスが提供できました。

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	事業所への防火・防災管理体制の充実	不特定多数の市民が出入りする防火対象物に対し防火・防災管理体制の指導を行います。	防火管理者を定めることが義務付けられている特定用途防火対象物176件を中心に立入検査を実施し、不備の是正、訓練指導を行います。	176件中137件、目標の7割強の立入検査を実施し、指導の結果、改善がみられました。	現在改修中の対象物を除き、防火管理者を定めることが義務付けられている対象物について立入検査を行いました。改修中の対象物についても、立入検査の日程が決定しています。	改修中であつた対象物も含め、目標の176件すべて立入検査を実施し、不備のあつたものについては是正指導を行いました。
6	自主防災組織への資機材支援、災害対応能力の強化	<p>自主防災組織に必要な資機材の購入また、経年劣化した資機材更新の支援を行います。</p> <p>事業所と消防署の合同訓練実施時に、自主防災組織の参加を呼びかけ、災害対応能力の向上を図ります。</p> <p>市民が消火栓を活用した初期消火を安全に行えるようにするため、「消火栓を使用した初期消火マニュアル」を作成し、普及に努めます。</p>	<p>9月までに要望調査を行い、11月中にコミュニティ助成事業の申請を行います。</p> <p>1月に行われる重要文化財合同訓練時に地元の自主防災組織とも合同で訓練を実施します。</p> <p>文章、写真によるマニュアル作成を行います。動画作成も行い、市ホームページに掲載します。</p>	<p>要望のあつた更新資機材について申請を行いました。</p> <p>訓練に協力していただけの事業所が決定しました。今後他課と訓練実施に向け調整します。</p> <p>8月中旬に市ホームページに掲載し閲覧可能となりました。引き続き、内容を広報紙等に掲載し普及に努めていきます。</p>	<p>申請事務について詳細な確認、修正等行いました。</p> <p>感染防止措置として訓練が中止されました。</p> <p>広報紙12月号で、当マニュアルを掲載しました。</p>	<p>申請の結果、助成が決定しました。今後の処理を進めていきます。</p> <p>重要文化財の訓練は中止されましたが、各自衛消防訓練に積極的に参加し、指導等行いました。</p> <p>動画としても市民へ広報できました。今後も本マニュアルを活用し普及に努めていきます。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
7	初動対応の充実強化	<p>各種事案対応マニュアルの見直しと整備を実施し、現場対応に必要な支援を迅速に行えるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口頭指導マニュアル ・インタビューマニュアル（通報受信要領） ・へり要請マニュアル ・災害対応フローチャート 	<p>現在、業務に関係する左記マニュアルを含め新規10件、更新分2件が完成し、統一した業務が可能となりました。</p>	<p>成果目標以外に、事案対応マニュアル、機器管理マニュアルなど15件作成し業務の円滑な運営に役立っています。</p>	<p>マニュアルを作成、見直したことにより、事案受付処理の迅速性が向上しました。また、古いものの間違いや、時代にそぐわないものなどが見つかり修正できました。</p>
	指令台更新に係る機能の検討	<p>指令台全更新に向け、現行指令台の機能的改善点の洗い出し、実装すべき機能の検討を行います。</p>	<p>改善、要望が必要な機能をデータシート化し、設計打合せ時の資料を作成します。</p>	<p>要求する機能、不要な機能を指令員全員がシート記入しているところであり、とりまとめ後、実現可否、有効性の検討を行っていく予定です。</p>	<p>これまで検討したものをシート化できました。今後も継続検討します。これらを基に基本計画案を作成しました。</p>

令和4年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 松本 孝之	<p>●使命</p> <p>私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、安全・安心な活力ある水道を基本理念に、災害に強い安全・安心で良質な水を安定的に供給します。また、下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>①安全で安心な水を供給するため、水質管理・検査体制の充実や浄水施設の適正管理に努めます。</p> <p>②効率的で災害に強い水道システムを構築するため、応急給水体制等の強化や、施設や管路の適正規模での更新や耐震化、統廃合を進めます。</p> <p>③健全で持続可能な事業経営を推進するため、施設や管路の適切な維持管理や投資の合理化、労働生産性の向上に努めます。</p> <p>④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。</p> <p>⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。</p>	所管課	上水道業務課・上水道施設課・下水道課		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			33人	5人	38人
		水道事業会計	2, 142, 112		千円
		下水道事業会計	3, 224, 627		千円
		計	5, 366, 739		千円
(うち人件費)	(263, 666		千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	管路の耐震化 災害に強い水道システムを構築するため、計画的に管路の耐震化を進めます。	市内2箇所にて水道配水用ポリエチレン管、口径150mm、延長355mの布設工事を3月末までに行います。年度末の耐震化率18.0% (前年+1.4%) を目指します。	牛窓町牛窓地区の工事は発注業務が完了し、工事中です。もう1箇所は、関係機関との調整中です。	牛窓町牛窓地区の工事は、1月に完了しました。もう1箇所は調整の結果、次年度の工事施工に変更しました。	年度末の管路耐震化率は18.2% (前年+1.6%) となり目標を達成しました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>浄水施設の適切な維持管理及び配水施設の更新</p> <p>福山浄水場及び長船水源地の適切な運転・維持管理を行い、浄水コストを低減します。</p> <p>老朽した配水施設を計画的に適正な規模で更新します。</p>	<p>電気料金の削減として、浄水処理量1m³当たりの電気使用量0.634kwh（前年-1.5%）を目指します。</p> <p>市内9箇所にて老朽した機械・電気設備の更新及び場内整備等を3月末までに行います。</p>	<p>平均使用量は、福山浄水場が1m³当たり0.660kwh、長船水源地在が1m³当たり0.609kwhです。</p> <p>老朽した9箇所のうち7箇所は完了し、残り2箇所は工事中です。</p>	<p>平均使用量は、福山浄水場が1m³当たり0.653kwh、長船水源地在が1m³当たり0.605kwhです。</p> <p>9箇所すべて完了しました。</p>	<p>浄水処理量1m³当たりの電気使用量は0.637kwh（前年+0.5%）に増加し、また、料金値上げにより動力費は増加しました。</p> <p>計画のとおり9箇所の整備が完了しました。</p>
3	<p>管路の適切な維持管理による有収率の向上</p> <p>有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。</p>	<p>市内5箇所にて老朽した塩化ビニル管を水道配水用ポリエチレン管、口径50mm～100mm、総延長約2,600mの布設替を3月末までに行います。</p> <p>市内の漏水の多い管路を選別し、総延長100km、給水戸数2,000戸の漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を行います。また、前島海底管の流量を測定し、管路の状況を調査します。年度末の有収率81.0%（前年+2.2%）を目指します。</p>	<p>4箇所の発注業務は完了し、工事中です。残り1箇所は10月の発注に向けて準備中です。</p> <p>漏水調査の発注業務は完了し、現地調査中です。前島海底管は、5月に漏水調査を実施し、海底部での漏水はなく、陸上部で2箇所の漏水修繕を完了しています。</p>	<p>2箇所の工事は完了し、残り3箇所は工事中です。</p> <p>11月末に総延長61.6km、給水戸数3,332戸の漏水調査を完了しました。調査の結果、28件の漏水を発見し、全て修繕を完了しました。</p>	<p>計画のとおり市内5箇所の水道配水用ポリエチレン管口径50～100mm、総延長約2,619mの布設替工事が完了しました。</p> <p>年度末の有収率は、80.7%（前年+1.9%）となりましたが、目標は達成できませんでした。</p>
4	<p>下水道の接続推進による経営の健全化</p> <p>供用開始予定地区へのパンフレット配布、広報紙やホームページへの記事掲載、接続に関するアンケート調査及びダイレクトメール等により未接続世帯に対し、積極的に働きかけを行い、接続率向上を目指します。</p>	<p>供用開始地区の下水道接続率82.3%を目指します</p>	<p>ホームページ・広報紙10月号へ早期接続のお願いを掲載しました。今後、ダイレクトメールを送付し接続を推進していきます。</p>	<p>1月中旬に桝設置から3年以上接続されていない世帯に対しダイレクトメールを送付しました。</p>	<p>令和4年度中に供用開始したご家庭にはパンフレットと早期接続の依頼文を配布しています。</p> <p>3月末の下水道接続率は81.6%です。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	施設の適正な管理運営	<p>ストックマネジメント計画及び最適整備構想に基づき、補助事業を活用しながら計画的に処理場及び管路の改修工事を実施します。</p> <p>経年変化により劣化したマンホール蓋及び污水管渠について、60基の蓋更新工事及び1,400mの管更生工事を実施します。</p> <p>農業集落排水施設の千手地区、尻海地区について、電気設備及び機械設備の改修工事を行います。</p>	<p>蓋更新工事は入札準備中です。管更生工事について、福岡地内は発注済みです。福元地内は入札準備中です。</p> <p>千手地区、尻海地区ともに入札準備中です。</p>	<p>蓋更新工事は完了しました。管更生工事は福岡地内の1000mは完了し、福元地区は工事中です。</p> <p>千手地区、尻海地区ともに工事中です。</p>	<p>蓋更新工事は完了しました。管更生工事は福岡地内の1000mは完了し、福元地区は工事中です。(令和5年5月末完了予定)</p> <p>千手地区、尻海地区ともに工事中です。(令和5年12月末完了予定)</p>
6	健全で持続可能な事業経営の強化	下水道事業の持続可能な経営の計画を策定します。	クリーンライフ100構想の見直し、経営戦略を盛り込んだ下水道ビジョンを3月末までに策定します。	下水道ビジョン策定のため8月に第1回下水道審議会を行いました。	<p>クリーンライフ100構想は現在、検証中です。下水道ビジョンは11月に第2回の審議会を行いました。</p> <p>クリーンライフ100構想は策定済みです。下水道ビジョンは3月に第4回の審議会を行いました。(令和5年5月末策定完了見込み)</p>

令和4年度 病院事業部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
病院事業部長 小山 洋一	<p>●使命 私たち病院事業部は、「市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。」を理念に掲げ、市民に必要とされる病院の運営と健全な経営に努めます。</p> <p>●基本方針</p> <p>①地域で必要とされる医療を安全・安心に提供します。 ②人を大切にし、患者の尊厳と権利を尊重します。 ③医療・介護・保健・福祉施設等と連携し、市民とともに地域包括医療・ケアを進めます。 ④常に自己研鑽に励み、医療の質向上に努めます。 ⑤市民に必要とされる医療人を育成します。 ⑥健全な経営基盤を確立します。 ⑦楽しく働き甲斐のある職場をつくります。</p>	所管課	市民病院・裳掛診療所		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			150人	34人	184人
		事業会計	2,477,081 千円		
		特別会計	21,221 千円		
		計	2,498,302 千円		
		(うち人件費)	(1,263,814) 千円		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	良質な医療サービスの提供と健診部門の充実	市民の医療需要に的確にこたえ、信頼される病院となるべく、患者さまの立場にたった医療、良質かつ適切で安全な医療サービスを提供します。 特定健診、人間ドック等を充実し、早期治療対応の環境づくりに努めます。	1日当たり外来患者数 220人 (前年度実績 181.9人) 1日当たり入院患者数 103人 (前年度実績 87.2人) 入院患者満足度 93%以上 (前年度実績 91.3%) 外来患者満足度 72%以上 (前年度実績 44.5%) 手術件数 350件	外来患者数 186.6人 (前年同期180.3人) 入院患者数 87.3人 (前年同期 87.3人) 入院患者満足度は8月に実施。現在集計中です。 (前年同期91.3%) 外来患者満足度調査は今後実施予定。 手術件数 132件	外来患者数 188.5人 (前年同期184.6人) 入院患者数 78.7人 (前年同期 87.5人) 現在集計中です。 (前年同期91.3%) 外来患者満足度調査は12月に実施。現在集計中です。 手術件数 211件	外来患者数182.9人 入院患者数 80.2人 入院患者満足度 89.7% 外来患者満足度 50.0% 手術件数 252件

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
		(前年度実績 245件) 健診者数 4,700人 (前年度実績 5,666人) 救急車受入件数 550件 (前年実績度 581件)	(前年同期 130件) 健診者数 2,216人 (前年同期1,883人) 救急車受入件数331 件 (前年同期325件)	(前年同期 207件) 健診者数 3,719人 (前年同期5,476人) 救急車受入件数 583 件 (前年同期499件)	健診者数 3,988人 救急車受入件数 684件
2	地域包括医療・ケアの推進と病床管理の徹底 地域の医療機関等との機能連携及び機能分担を進めるため、患者紹介・逆紹介の推進、情報交換等を積極的に進めます。 また、入退院管理と効率的な病床管理の徹底、地域医療連携、退院支援、在宅医療等医療・福祉の相談支援を積極的に進めます。 地域包括医療・ケア推進のため、病診連携、病病連携、福祉・介護関連の諸機関との連携を更に強化します。	病床稼働率 93.1% (前年度実績 90.4%) 患者紹介率 35% (前年度実績 29.0%) 逆患者紹介率 35% (前年度実績 23.6%) 患者相談支援件数 7,000件 (前年度実績 6,851件)	病床稼働率 81.5% (前年同期90.2%) 患者紹介率 29.2% (前年同期29.0%) 逆患者紹介率17.4% (前年同期23.0%) 患者相談支援件数 3,257件 (前年同期2,318件)	病床稼働率 80.7% (前年同期90.8%) 患者紹介率 31.0% (前年同期28.9%) 逆患者紹介率 18.2% (前年同期24.2%) 患者相談支援件数 5,802件 (前年同期4,100件)	病床稼働率 82.6% 患者紹介率 30.6% 逆患者紹介 19.7% 患者相談支援件数 7,154件
3	経営の健全性・安定性の向上 良質な医療サービスを地域住民に提供し続けるためには、適材適所の人材確保に努め、健全で安定した経営を行うことが必要不可欠です。 そのため、経営企画室主導による経営改善を推進するとともに、市民が求める公立病院に期待する役割を實踐し、健全な経営状態の確保に努めます。	入院患者1人1日当たり収入 32,900円 (前年度実績 33,260円) 外来患者1人1日当たり収入 7,200円 (前年度実績 7,470円) 新入院患者数1日平均4.0人 (前年度実績 3.20人) 経常収支比率 100.5% (前年度実績 105.6%)	入院患者1人1日当たり収入 34,010円 (前年同期33,430円) 外来患者1人1日当たり収入 7,710円 (前年同期 7,490円) 新入院患者数1日平均 3.2人 (前年同期3.3人) 経常収支比率94.9% (前年同期99.1%)	入院患者1人1日当たり収入 34,490円 (前年同期33,200円) 外来患者1人1日当たり収入 7,650円 (前年同期 7,300円) 新入院患者数1日平均 3.3人 (前年同期3.2人) 経常収支比率98.5% (前年同期105.2%)	入院患者1人1日当たり収入 34,220円 外来患者1人1日当たり収入 7,690円 新入院患者数1日平均 3.2人 経常収支比率 (見込) 99.5%

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
4	病児・病後児保育事業の実施	子育て支援の住民要望に対する保育対策として育児と就労の両立を支援します。 瀬戸内市から委託を受けて総合福祉センター内の保育室で実施します。	利用希望があった際には、速やかに受け入れを行い、子育て世帯の就労継続の支援を行います。	延べ利用児童数 79人 (前年同期 95人)	延べ利用児童数 135人 (前年同期 138人)	延べ利用児童数 154人
5	病院機能評価の受審	病院の更なる改善活動を推進し、病院体制の一層の充実や医療の質の向上を図るため、第三者機関による組織全体の運営管理及び提供する医療について評価を行い、当院の位置付けや改善すべき課題を明らかにします。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により令和4年1月の受審が延期となったため令和4年度の認定を目標とします。	4月 病院機能評価受審 6月 認定	病院機能評価については、4月20日、21日の両日で受審し、認定を受けました。 (認定期間令和4年3月2日～令和9年3月1日)	病院機能評価認定済みです。	同左
6	医療職の人事評価制度の導入	事務職員を除く医療職員の人事評価制度が運用できていません。 働き方改革により労働時間の削減が求められる中で病院がどのようなパフォーマンスを期待し、どう評価するかを、メッセージとして伝え、一人ひとりの生産性の向上を図ります。	令和4年度に準備し、令和5年度より導入します。	他自治体例を参考に検討を進めています。	導入準備中です。	新型コロナウイルス感染症対策業務の対応に追われ未達成となりました。 令和5年度に準備し、令和6年度の導入を目標とします。

令和4年度 出納室 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
会計管理者 八塔 圭介 	<p>●使命 出納室は、公金の収納及び支払を適正・的確に行い、市民から信用される事務処理を遂行します。また、确实かつ有利な資金運用を行います。</p> <p>●基本方針</p> <p>① 会計事務の正確性、信頼性及び効率性を高めるため、業務改善を行います。</p> <p>② 确实かつ有利な資金運用を行います。</p>	所管課	出納室		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			4人	0人	4人
		一般会計	40,687 千円		
		特別会計	千円		
		計	40,687 千円		
		(うち人件費)	(35,296 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	適正・的確な会計事務及び業務改善 正確で適正な事務処理を行うため、会計事務担当者への指導強化に努めます。 効率的な事務処理方法の研究を行います。	会計事務の説明会を、職員研修として実施します。 会計規則等の見直しを行います。	8月9日初任者を対象に会計事務研修会を実施しました。 会計規則等の見直しを行っています。	同左 同左	同左 事務処理の適正化、効率化を図るため、4月1日施行の改正案を作成しました。

重点項目		内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1			「会計事務の手引き」並びに「Q&A」の内容の充実を図ります。	5月に一部改訂を実施し、引き続き内容の充実を図ります。	内容の充実を図り改訂を検討しています。	5月に一部改訂実施後、次年度改訂向けに準備を進めています。
2	確実かつ有利な資金運用	債券等に関する知識を深めるとともに、市場調査や情報収集に努め、確実かつ有利な資金運用に努めます。	市場状況に基づいた確実かつ有利な資金運用を行います。	資金運用益 14,513,757円	資金運用益 19,498,903円	資金運用益 25,985,466円

令和4年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 尾副 幸文	<p>●使命 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、令和3年4月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、令和4年度瀬戸内市の教育に基づいた諸施策を実施します。</p> <p>●基本方針 瀬戸内市教育大綱 重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 これからの時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育む教育を実現します。 重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 全ての子どもの成長を、学校、家庭、地域及び関係機関が緊密に連携協力し、社会総がかりで支援します。 重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 あらゆる年代の市民が生涯にわたり学びたいときに学び、生きがいを持つことができるよう、生涯学習の機会の充実を図ります。 重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」 市民が、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、健康づくりや体力づくりを行うことができる環境を整備します。</p> <p>以上、4つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待にこたえるよう教育行政を推進していきます。</p> <p>(重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」の事業は、令和2年度から市長部局の文化観光部へ)</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
人 員		正職員	会計年度任用 職員	合計	
		64人	168人	232人	
一般会計		3,139,361 千円			
特別会計					千円
計		3,139,361 千円			
(うち人件費)					(826,439 千円)



重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	学力向上や生徒指導の充実と指導内容・方法の改善	【学力向上プロジェクトチーム】市内中学校ブロックごとにプロジェクトチームを編成し、学力・学習状況調査の結果を基に学力向上や家庭学習に関する情報交換、研修、研究を推進します。	学習に取り組む主体的な態度を養い、自分で学習を計画する児童生徒を8割以上にします。	学習計画を立てにくい児童生徒は前年度よりも減っており、小学生の約7割、中学生の約6割が計画的に学習しています。	11月実施の調査では、小学生も中学生も約6割が自分で計画を立てて学習していると回答しました。	研修会を開催し、年2回実施した調査結果について、成果と課題の検証を行い、次年度の取組についての検討を行いました。
	教育環境の改善を図る学校施設や教育設備の計画的再整備	【学校教育施設等整備事業】老朽化が進んでいる国府小学校の大規模改造や、学校・幼稚園トイレの環境整備（洋式化、乾式化）を進めることにより、機能性や衛生面に配慮した施設整備を行います。				
		●小学校施設整備 国府小学校 校舎大規模改修工事（Ⅰ・Ⅱ期） 行幸小学校 プール改修 牛窓北小学校 駐車場整備	I期工事 8月末完成 II期工事 年度内に着手します。 全体竣工を令和5年度末完成 3月末完成 3月末完成	I期工事は、8月中旬に完成しました。 II期工事は、発注準備を進めています。 行幸小学校プール改修と牛窓北小学校駐車場整備は、ともに発注準備を進めています。	国府小学校のII期工事を12月に発注し、1月末より現場に着手したところです。 行幸小学校プール改修工事は55%の進捗率となっています。	国府小学校II期工事の進捗率は15%で、令和5年12月の完成に向けて、引き続き工事を進めています。 行幸小学校プール改修工事は、90%まで工事を終え、令和5年4月末までに完成する見込みです。 牛窓北小学校駐車場整備は、用地である旧園舎の解体工事を完了しました。駐車場整備全体の完成は令和5年8月末となる見込みです。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
	<p>●トイレ環境整備 牛窓西小、牛窓北小、邑久小、今城小、裳掛小、美和小 牛窓中 邑久幼、国府幼、行幸幼</p>	<p>トイレ工事：牛窓北小、邑久小、裳掛小、美和小、牛窓中、邑久幼、国府幼、行幸幼・・・ 10月末完成</p> <p>実施設計：牛窓西小、邑久小、今城小、牛窓中、邑久幼、国府幼・・・3月末完成</p>	<p>牛窓北小、邑久小、裳掛小、美和小、牛窓中、邑久幼、行幸幼のトイレ工事を実施中で、ほぼ完成に近づいています。</p> <p>実施設計は、発注準備を進めています。</p>	<p>牛窓北小、邑久小、裳掛小、美和小、牛窓中、邑久幼、行幸幼のトイレ工事が10月までに完成しました。現在、来年度の整備予定箇所について実施設計を行っているところです。</p>	<p>令和5年度の整備予定箇所である、牛窓西小、邑久小、今城小、邑久幼、国府幼の実施設計を3月末に完了しました。</p>
	<p>●学校体育館照明LED化 邑久小、今城小、裳掛小、美和小、国府小、行幸小 邑久中</p>	<p>8月末完成</p>	<p>8月末に完成しました。</p>	<p>8月末に完成し、新しい照明を使用しています。</p>	<p>同左</p>
	<p>適切な「食」の選択力をつける食育の充実</p>	<p>【安全安心な給食】 学校給食に係る衛生管理を徹底するとともに、地元の旬の食材や郷土料理を取り入れた「瀬戸内市共通献立」を実施します。</p>	<p>「瀬戸内市共通献立」を毎月実施します。</p>	<p>毎月3～4回実施しています。また、ヘルシータウン推進協議会の協力のもと、瀬戸内市産の食材を学校給食で使用しています。</p>	<p>毎月3～4回実施しています。給食に使用する旬の食材使用については、瀬戸内市産のものを優先して発注しています。</p>
	<p>【学校給食を教材とした食育の充実】 児童生徒の健康の保持増進を図ることはもちろん、「学校給食法」第2条「学校給食の目標」を達成できるよう、栄養教諭が担任や養護教諭と連携し、食に関する指導を効果的、継続的に進めます。</p>	<p>授業及び給食時指導を年間104回以上実施し、給食だより等により、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらい、食に関わる人々への感謝の気持ちを育むよう指導します。</p>	<p>給食時指導44回、授業12回、計56回の食育を実施しています。</p>	<p>給食だよりは毎月作成しています。給食時指導74回、授業37回、計111回の食育を実施しています。</p>	<p>給食だよりを毎月作成し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を子どもと保護者に紙面で提供しました。栄養教諭が給食時指導84回、授業40回、計124回の食育を実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>子育ての喜び、楽しさが感じられる子育て支援</p> <p>【家庭教育に関する情報や学習機会・集いの場の提供】 保護者が集まる機会に、保護者同士が交流しながら子育てに必要な知識・スキルを学ぶ、親育ち応援学習プログラム（親プロ）を実施し、学習意欲が高まるようサポートするファシリテーター養成講座やスキルアップ講座等を実施し、みんなが安心して学習に取り組める場を提供します。</p>	<p>子育て支援センター・幼稚園や市内NPO法人などと連携して、親育ち応援学習プログラム（親プロ）学習会や養成講座などを年5回実施します。また、家庭教育に関する情報を年度末にまとめ、提供します。</p>	<p>親育ち応援学習プログラムは、2回実施し、保護者の感想から満足度が高い評価がありました。家庭教育学級も3回行い親子の触れ合いや保護者同士の交流をする中で横の繋がりにも広がりがありました。</p>	<p>親育ち応援学習プログラムは、6回、家庭教育学級7回を実施しました。 市内NPO法人と共にファミリー音楽会を開催し180名の参加がありました。また、来年度に向けて共に子育て支援ができるよう計画していきます。 2月に養成講座を行います。</p>	<p>親育ち応援学習プログラムは、6回、家庭教育学級7回を実施しました。 2月に養成講座を行い、ファシリテーター登録が完了しました。 今年度実施した家庭教育に関するアンケート結果をまとめ、各幼稚園に配布し、課題等を伝えました。</p>
	<p>生活や学習に困難を抱える子ども・家庭への適切な支援</p> <p>【不登校対策実践研究事業】 長期欠席・不登校傾向にある児童の個別の支援カードを作成し、個々の実態に応じた支援方法を研究したり、小学校4校に登校支援員を配置したりするなど、登校しづらい児童への登校支援や自立支援を行い、長期欠席・不登校の抑制と「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」に示す状態の改善を図ります。</p>	<p>小中学校における不登校の出現数を前年度より10%減らし、社会的な自立に向けた状態改善を目指します。</p>	<p>不登校の出現数は9月末現在の前年度比で、小学校は、減少していますが、中学校は、わずかに増加しています。</p>	<p>不登校の出現数は12月末現在の前年度比で、小学校は、減少していますが、中学校は、ほぼ同数となっています。</p>	<p>不登校の出現数は3月末現在の前年度比で、小学校は、3割減少しましたが、中学校は、ほぼ同数となっています。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	<p>子育て支援を行う地域ボランティア等（こどもひろば事業、地域学校協働活動）との連携協力</p>	<p>【地域学校協働本部事業】 地域全体で未来を担う子どもの成長を支え、地域を創生する活動を推進するため、地域と学校が連携・協働して地域学校協働本部の育成・強化を図る。また、地域と学校をつなぐ重要な役割を持つ、地域学校協働活動推進員の資質向上のため、研修等を実施し育成を図ります。</p>	<p>地域学校協働活動推進員及び学校教職員・ボランティア等へ、研修会への参加・情報提供等実施しスキルアップするとともに、協働本部の体制強化を図ります。</p>	<p>6月に各地域学校協働活の取組をまとめた冊子を、今後の活動の参考としていたため作成し、配布しました。県教委が主催する研修会の案内を随時行い、参加しています。</p>	<p>研修会への案内を随時行い、スキルアップのため参加を促しました。また、各地域学校協働活動本部会議に参加し、地域と学校がより連携できるよう協議を行いました。</p>
3	<p>地域資源等を活用した学びの提供と人のつながりを生み出す公民館活動の充実</p>	<p>【公民館講座開催事業等】 シビックプライドの醸成や持続可能な学習のニーズにこたえるため、糸あやつり人形劇体験講座をはじめ、日本画講座や菊づくり講座、牛窓を楽しむ講座、地域再発見ウォーキングなど、地域の資源を生かした学習機会の提供を行います。また、「文化があふれるまちづくり事業」については、市民が主体的に考えた文化芸術活動の活性化を図るため、中央公民館と実行委員会が中心となり、イベントの開催などの支援を行います。</p>	<p>糸あやつり人形の伝承講座や菊づくり講座など、公民館主催事業の参加人数は、年間18,000人を目指します。また、受講者へのアンケートも行い、平均満足度70%以上を目指します。 中央公民館と文化があふれるまちづくり委員会が実施する主催イベントは年間6回以上開催し、参加人数3,000人を目指します。</p>	<p>糸あやつり人形づくり体験講座など地域資源を生かした主催事業に8,357人の参加があり、平均満足度70%以上を継続しています。 文化があふれるまちづくり事業では親子de文化祭など主催イベントを3回行い、延べ1,855人の来場がありました。</p>	<p>文化祭などやWi-Fi整備に伴う主催事業に7,651人の参加があり、1月末で16,008人の参加人数になりました。アンケートによる平均満足度も80%以上となり、文化があふれるまちづくり事業の1月末の6回の実施で、2,223人の来場がありました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
3	<p>地域の情報拠点として多様なニーズにこたえる図書館サービスの充実</p>	<p>【図書館管理運営事業】 多様な情報ニーズに対応するため、蔵書を充実させ、レファレンス機能の強化を図ります。令和4年度には、図書館等管理運営システムを更新し、遠隔地へのサービスや、コロナ禍で必要性が明らかとなった非来館型サービスなど、利用者サービスの向上を図ります。また、市民との協働や、行政・専門機関などとの連携を強化し、読書活動推進・子育て応援・認知症予防・地域学習支援等々、さまざまな課題にこたえるための各種事業を実施します。</p>	<p>市立図書館全館の利用者登録率を56%、実利用率(年間に1度でも貸出利用をした人の割合)を18.5%、貸出冊数を約330,000冊(住民1人当たり貸出冊数を9冊)、読書案内を含むレファレンス(調べもの相談)対応件数を2,000件とし、市民図書館の来館者数を13万人とします。また、図書館等管理運営システムを、12月末までに更新します。</p>	<p>利用者登録率は56.8%、貸出冊数は176,710冊(住民1人当たり貸出冊数は4.8冊)、読書案内を含むレファレンス(調べもの相談)対応件数は1,427件、市民図書館の来館者数は72,959人となっています。また、図書館等管理運営システムの提供事業者を特定しました。</p>	<p>利用者登録率は57.4%、貸出冊数は285,944冊(住民1人当たり貸出冊数は7.7冊)、読書案内を含むレファレンス(調べもの相談)対応件数は2,160件、市民図書館の来館者数は118,212人となっています。また、図書館等管理運営システムの更新作業は計画どおり完了しました。</p>	<p>利用者登録率は58.1%、実利用率(年間に1度でも貸出利用をした人の割合)は17.2%、貸出冊数は341,387冊(住民1人当たり貸出冊数は9.2冊)、読書案内を含むレファレンス(調べもの相談)対応件数は2,578件、市民図書館の来館者数は141,958人となっています。</p>
4	<p>体育協会、スポーツ少年団をはじめ、各種スポーツ団体及び指導者等の育成支援</p>	<p>【スポーツ団体の育成支援事業】 体育協会、スポーツ少年団、地域おこし協力隊等の団体を育成支援することにより、競技スポーツの推進及びスポーツの機会の提供を充実させます。</p>	<p>地域おこし協力隊を2名採用し、各種団体と連携したスポーツイベントを年2回実施します。</p>	<p>瀬戸内市の女子硬式野球クラブ「瀬戸内ブルーシャインズ」と連携し、8月に市内の子どもを対象にしたスポーツイベント(フレスコボール体験会)を実施し、延べ12人の参加がありました。</p>	<p>10月に美和小学校において、陸上記録会に向けたウォーミングアップ運動、ソフトボール投げ、ハードルの指導を交えた交流を行いました。また、11月には、国府小学校で、体育の授業としてティーボールの指導を行いました。</p>	<p>裳掛小学校、邑久小学校5年生との交流会へ参加し、リズムジャンプとフレスコボールを実施しました。年間でスポーツイベント(フレスコボール体験会)を計5回実施しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>人々が集い、憩い、安全に使えるスポーツ拠点施設の計画的整備</p> <p>【スポーツ公園等整備事業】</p> <p>(1) 邑久スポーツ公園野球場の防球ネットの整備及びグラウンドに不陸整正をするための設計を行います。</p> <p>(2) 牛窓グラウンドの拡張等の計画を策定します。</p> <p>(3) 邑久スポーツ公園冒険の森改修及び邑久B&G海洋センター体育館の外壁等の工事を行い、市民のスポーツ活動の拠点施設の整備を行います。</p>	<p>(1)(2)の測量、設計業務を12月末までに完了します。</p> <p>3月末竣工を目指します。</p>	<p>野球場の設計は、発注準備を進めています。</p> <p>9月20日に牛窓グラウンドの拡張に向けた詳細設計業務の契約締結を行い、基盤の高さ等の検討を行っています。</p> <p>冒険の森改修は、発注準備を進めています。</p> <p>邑久B&G体育館は、改修に向けた外部足場組立、北面アスベスト除去を行っています。</p>	<p>野球場防球ネットは、飛球シミュレーションによる検証を実施し、場外飛球防止率と経済性双方の観点による検討協議を行いました。</p> <p>詳細設計業務が完了し、既存施設の表土を剥ぎ取り、土砂の敷き均し、表土を戻し整地等の報告書が提出されました。</p> <p>屋根、外壁、インターロッキング等の工事が終了し、2月中旬の竣工検査に向けた調整を行いました。</p>	<p>飛球の弾道曲線や他球場の事例等を基にした防球ネット等の設計業務が完了しました。</p> <p>詳細設計業務の報告書を踏まえ、次年度の工事発注に向けた関係部署との協議を行いました。</p> <p>邑久 B&G 体育館改修工事が竣工し、2月21日から前倒しで施設の利用を再開しました。冒険の森改修は、令和5年度中の竣工を目指し、事業を繰越しました。</p>

令和4年度 議会事務局 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
議会事務局長 三浦 光男	<p>●使命 議会事務局は、議会運営・議会活動・政策立案機能の支援や議会と執行機関との調整、議会と市民との媒介といった役割を担うとともに、議会の情報を様々な媒体を活用して、市民に対して迅速で正確、そして分かりやすく伝えていくことが私たちの使命です。</p> <p>●基本方針</p> <p>①議事機関である議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供することによって、市民に良質な行政サービスの提供がなされるよう議員の議会活動を支援します。</p> <p>②ホームページや議会だより、議会ネット配信システム等により、議会活動情報等を積極的に公開し、「市民が身近に感じることのできる議会」「開かれた議会」を推進します。</p> <p>③円滑で秩序ある議会運営のために、事務局機能の充実・強化を図り、議会からの要請などの確に対応できる体制づくりに努めます。</p>	所管課	議会事務局		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			4人	1人	5人
		一般会計	181,779 千円		
		特別会計	0 千円		
		計	181,779 千円		
(うち人件費)	(39,648 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	円滑で効率的な議会運営や政策立案等の様々な議会活動の支援	適切な情報提供を適時に行えるよう、調査情報、政策、法務部門を充実強化します。また、昨年度導入したタブレット端末の活用を進めます。	議会定例会（6月、9月）臨時会（7月）各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供することで円滑な運営ができました。 また、タブレット端末の運用も軌道に乗ってきています。	議会定例会（6月、9月、11月）臨時会（7月、10月）各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供することで円滑な運営ができました。 また、タブレット端末については、定例会ごとに要望や意見を聞きながら利活用の研究を進めることができました。	議会定例会（6月、9月、11月、2月）臨時会（7月、10月）各常任委員会及び特別委員会等が開催され、いずれも概ね円滑な運営ができました。また、タブレット端末については、定例会ごとに要望や意見を聞きながら利活用の研究を進めることができました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2	議会活動の紹介	議会だより（年4回、市内全世帯配布）発行の編集補助をするとともに議会報告会の開催の支援を行います。また、議会ホームページを適時更新します。	議会だよりは、70号を5月1日に、71号を8月1日に発行し、現在11月1日発行となる72号の編集作業をしています。また、議会ホームページを適時更新しています。	議会だよりは、70号を5月1日に、71号を8月1日に発行し、現在2月1日発行となる73号の編集作業をしています。また、議会ホームページを適時更新しています。	議会だよりを定例会ごとに70号から73号を発行しました。また、2月に開催を予定していた議会報告会が中止となったため、3月1日に議会だより「特別号」を発行し、報告予定の内容をお伝えすることができました。あわせて議会ホームページを適時更新し、最新の情報の提供ができました。
3	市民に分かりやすく開かれた議会への取組の支援	議会ネット配信システム（ライブ中継及び録画配信）へのアクセスに係る呼びかけをホームページ等で積極的に行います。また、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら議会傍聴の周知を図り、市民にとって身近な議会を目指します。	スムーズなインターネット配信（ライブ中継及び録画配信）を行うとともに、マスメディアを通じて議会情報を発信し、議会傍聴者、インターネット閲覧者など議会と市民をつなぐ場への参加者の増加を目指します。	定例会及び議場で行う委員会のインターネット中継については概ね順調に配信することができています。	定例会及び議場で行う委員会のインターネット中継については、順調に配信することができました。
4	事務局職員の育成・体制強化	社会情勢の変革など様々な状況に対応できる事務局を目指し、各種職員研修会や先進地視察研修を通して、事務局職員の能力向上を図ります。	市、研修センター、市町村アカデミーなどが開催する各種研修会等に参加もしくは、オンラインでの参加を積極的に行い、事務局職員のスキルアップを図ります。	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会が中止になり参加できていませんが、今後オンライン研修の受講を予定しており、スキルアップに努めています。	参加を予定していた研修が新型コロナウイルスの影響で中止となるなど、十分とは言えませんが、オンライン研修の受講などにより一定のスキルアップは図れました。

